

令和4年度  
教育に関する事務の管理、執行の状況  
の点検及び評価報告書

令和5年8月  
一戸町教育委員会



## はじめに

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、一戸町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について教育委員会自ら点検及び評価を行った結果を取りまとめたものです。

この報告書を議会に提出するとともに、公表することにより町民への説明責任を果たし、町民に信頼される教育行政を推進してまいりたいと考えております。

また、点検及び評価の方法については今後においても随時不備な点は改善し、結果についてはこれからの施策等に反映していくこととし、継続的に事業の改善を図ってまいりたいと考えております。

### ○根拠

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うには当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### ○対象

教育振興基本計画の施策に基づき、その状況を点検及び評価の対象とした。

### ○方法

事業担当課が実施状況等をまとめ、次の 4 段階による内部評価を実施した。

- A・・・計画以上の成果をあげた
- B・・・達成できた
- C・・・おおむね達成できた
- D・・・達成できなかった

# 目 次

1. 令和4年度教育委員会の活動状況	
(1) 教育委員	1
(2) 教育委員会議の開催状況	1
(3) 教育委員会議議決案件	1
(4) 教育委員会議以外の活動状況	2
2. 教育委員会事業の点検・評価	
(1) 学校教育課関連事業	3
(2) 生涯学習課関連事業	
①社会教育事業実施状況	22
②スポーツ振興事業実施状況	27
③地区センター事業実施状況	32
④芸術文化・コミュニティセンター関係事業実施状況	47
⑤一戸町立図書館事業実施状況	52
⑥世界遺産事業実施状況	61
⑦文化財関係事業実施状況	65
3. 令和4年度教育に関する事務の管理及び	
執行の状況の点検・評価に関する有識者からの意見	68

## 1. 令和4年度教育委員会の活動状況

### (1) 教育委員（令和4年4月1日現在）

役職名	氏名	就任年月日	現任期
教育長職務代理者	春日川 寛治	平成24年12月25日	令和2年12月25日 ～令和6年12月24日
委員	徳永 映子	平成29年12月25日	令和3年12月25日 ～令和7年12月24日
委員	武田 靖子	平成30年4月1日	令和4年4月1日 ～令和8年3月31日
委員	梅垣 俊輔	平成31年4月1日	平成31年4月1日 ～令和5年3月31日
教育長	中嶋 敦	平成30年4月1日	令和3年4月1日 ～令和6年3月31日

### (2) 教育委員会議の開催状況

月日	議案	報告	月日	議案	報告
4月21日	4	0	11月29日	0	0
5月26日	0	0	12月22日	0	0
6月23日	1	0	1月27日	1	0
7月28日	1	0	2月21日	0	0
8月25日	1	0	3月20日	2	0
9月27日	0	0			
10月27日	0	0	計	10件	0件

### (3) 教育委員会議議決案件

日付	件名
R4.4.21	一戸町社会教育委員の委嘱に同意を求めることについて
	一戸町スポーツ推進委員の委嘱に同意を求めることについて
	一戸町食育センター運営委員の委嘱に同意を求めることについて
	一戸町育英会評議員の委嘱に同意を求めることについて
R4.6.23	一戸町スポーツ推進委員の委嘱に同意を求めることについて

R4.7.28	一戸町立小中学校において令和4年度使用する教科書の採択に関し議決を求めることについて
R4.8.25	令和3年度教育に関する事務の管理、執行の状況の点検及び評価報告書について
R5.1.27	一戸町文化スポーツ賞表彰規定を策定する訓令の制定について
R5.3.20	令和4年度末職員の定期人事異動の内申に関し承認を求めることについて
	独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付制度に係る保護者負担に関する要綱の制定について

(4) 教育委員会議以外の活動状況

・学校訪問等

- 4月 入学式 小学校、中学校、高等学校（一戸高校）  
6月 学校視察 小学校、中学校  
3月 卒業式 小学校、中学校、高等学校（一戸高校）

・総会・研修会

- 7月 東北町村教育長連絡協議会定期総会（書面開催）  
東北六縣市町村教育委員会連合会定期総会（書面開催）  
10月 一戸町教育委員視察研修（平泉町、陸前高田市、釜石市）

・一戸町総合教育会議の開催状況及び会議案件

日付	件名
R4.9.2	・令和4年度教育長施政方針の取組状況について
R5.2.28	・令和4年度教育長施政方針の取組状況について

## 2. 教育委員会事業の点検・評価

### 第2章 学校教育の充実

#### 第1節 幼児教育・義務教育の充実

A：計画以上の成果をあげた

B：達成できた

C：おおむね達成できた

D：達成できなかった

#### 幼児幼児教育の充実

事業名	実施状況	実績	評価
「一の教育」研修事業	<p>町内の認定こども園、保育所、小学校等の教職員による授業参観や交流・懇談を通して、幼児教育から初等教育への接続期における望ましい指導のあり方等について研修を深めるとともに、相互の連携を図り一貫性を強化することにより、就学前教育及び小学校教育の振興充実に資する。</p> <p>◆「一の教育」研修会の開催</p> <p>①令和4年6月7日（火）</p> <p>②令和4年11月16日（水）</p> <p>・対象：町内の認定こども園、保育所、小学校等の教職員等</p> <p>・会場：一戸町立小鳥谷小学校、奥中山みどりの森子ども園</p> <p>・内容：①1，2年生活科の授業研究会、情報交換会 ②奥中山もどりの森こども園の保育参観、情報交換会</p>	<p>【研修会参加人数】</p> <p>① 12名</p> <p>② 10名</p>	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○1回目の研修会では幼児教育の充実に向け、授業研究会を通して子どもたちの現状を把握した。また、参加者のグループ協議では各学校の「一の教育」を見通すことができた。また、2回目の研修会では、こども園の参観により保育・教育の学び合う機会となった。			

自ら学ぶ意欲の育成と基礎学力の向上

事業名	実施状況	実績	評価
<p>学力向上の推進</p>	<p>◆学力向上推進委員会の開催 町内の小中学校の教員の中から学力向上推進委員を委嘱し、基礎学力定着のため調査研究し、一戸町の教育水準の向上と充実に資する。 ・委員（8名）による学力検査の分析を行い、分析資料のまとめと今後の活用の在り方について検討した。</p> <p>◆読書推進活動 ・全児童を対象に学年ごとの年間目標読書冊数（低 80 冊、中 60 冊、高 40 冊）を設定し、達成できた児童には賞状等を与えることにより、読書意欲の向上を図っている。 ・学校司書・図書館業務担当者研修会（年 2 回）</p> <p>◆図書贈呈事業 ・子どもが読書などに主体的、意欲的に取り組める環境づくりを進めることを目的に、町立小・中学校の入学者を対象に図書贈呈事業を実施した。</p> <p>◆学校図書館の整備充実 ・蔵書情報の共有化や図書資料の有効活用について、町立図書館と連携を図っている。</p> <p>◆英語検定、日本語検定、数学検定の検定料の補助 ・中学校 2・3 年生を対象に、英語検定、日本語（漢字）検定、数学検定の検定料を年 1 回に限り補助することで、生徒の英語や漢字、数学の力を高めることに資する。</p> <p>◆土曜学習 ・公営塾が運営主体となり中学生の希望者を募り開催し、個別の課題の克服に向けて一人ひとりに応じた学習を進める。</p>	<p>2 回開催</p> <p>目標達成児童数割合 97%</p> <p>【贈呈者数】 ・小学校 1 年生：47 名 ・中学校 1 年生：73 名</p> <p>一戸南小学校、鳥海小学校、小鳥谷小学校、奥中山小学校の 4 校に学校司書を配置</p> <p>【延べ受検者数】 107 名</p> <p>【受講者数】 35 名</p>	<p>B</p>

諸検査・調査の実施	<p>◆知能検査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検査対象：小学校2、4学年・中学校1学年</li> </ul> <p>◆学力検査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検査対象：小学校全学年・中学校1、2学年</li> <li>・検査教科：小学校 国語・算数 中学校1年 国語・数学 中学校2年 国語・数学・社会・理科・英語</li> </ul> <p>◆学習定着度状況調査（実施主体は岩手県）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検査対象：小学校5学年・中学校2学年</li> <li>・検査教科：小学校 国語・算数・質問紙調査 中学校 国語・数学・質問紙調査</li> </ul> <p>◆全国学力・学習状況調査（実施主体は国）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検査対象：小学校6学年・中学校3学年</li> <li>・検査教科：小学校 国語・算数・質問紙調査 中学校 国語・数学・質問紙調査</li> </ul>	全検査及び調査を予定どおり実施した。 (令和2年度は一部の調査が質問紙調査のみ実施)	B
学校支援員等の配置	学習面で遅れが見られる児童生徒に対し、きめ細やかな指導を行い、学習内容の理解と定着を図った。	【配置校】 一戸小4名・一戸南小3名・鳥海小1名・小鳥谷小2名・奥中山小2名・一戸中3名・奥中山中2名 計17名	B
学力向上支援員の配置	児童生徒の基礎学力向上のため、学力向上支援員を配置して指導の強化を図った。	【配置校】 奥中山小1名・一戸中1名・奥中山中1名 計3名	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<p>○学力向上の推進については、学力向上推進委員会において各校の課題と参考になる事項等を交流することにより町全体の学力向上の意識をもたせることができた。また、授業と家庭学習の連動や組織的な学力向上についての取組が具体的に進められている。</p> <p>○読書推進活動においては目標達成児童数の割合が高く、読書意欲は依然として高い。</p> <p>○タブレットを活用し、多様な学習活動を展開している。</p> <p>●各種検定については、英語検定への偏りが見られるため、日本語（漢字）検定や数学検定の受験者数の向上のため積極的な呼びかけ等が必要である。また、令和5年度からは検定料の補助を小学生まで拡大したので、児童生徒への積極的な受検を促していく。</p>			

社会社会の変化に対応した教育の充実

事業名	実施状況	実績	評価
中高生の国際交流事業	<p>・平成18年度より軽米町との合同により海外派遣事業を行ってきた。</p> <p>・平成21年度は新型インフルエンザの世界的な流行等をふまえ実施を見送ったが、平成22年度から再開し、平成25年度からは新たに一戸高校から団員を派遣している。</p> <p>・令和2年度は新型コロナウイルスの影響により中止し、令和3年度は研修地を国内として実施したところだが、当時の新型コロナウイルスの感染状況を考慮して令和4年度も引き続き研修地を国内として実施した。</p> <p>研修期間：令和5年1月4日から6日まで 研修場所：東京都 TOKYO GLOBAL GATEWAY</p>	<p>【参加生徒数】</p> <p>一戸中 3名 奥中山中 3名 一戸高 4名 (軽米中 3名、軽米高 2名)</p>	B
一戸町中学生英語キャンプ事業	<p>・中学1年生を対象とし、外国語指導助手（ALT）との活動や同世代との交流、異文化の見聞、英語を使ったコミュニケーションなどの成功体験による事後の学習意欲の向上が望める事業として実施している。</p> <p>実施期間：令和4年7月27日から7月28日まで 実施場所：奥中山高原センターハウス</p>	<p>【参加者数】</p> <p>一戸中 4名 奥中山中 9名 ALT 3名</p>	B
いちのへ未来議会の実施	<p>・これまで6回にわたり実施してきた「いちのへ未来議会」について町内中学校と町とで翌年度からの実施内容、実施時期等の見直しの検討を行った。</p>		B
<p>成果と課題（○：成果、●：課題）</p> <p>○中高生国際交流派遣事業は、研修地を国内としたが、英語・異文化交流の体験ができ、参加生徒等からも有益であったとの評価であった。</p> <p>○いちのへ未来議会の見直し検討により、翌年度からも引き続き市町村の施策に子どもの意見を反映させるとともに、まちづくりへの参画意識の醸成や郷土愛を育むことを目的に実施することを決定した。</p> <p>●新型コロナウイルスの5類移行に伴い、令和5年度から海外派遣を再開する見通しであるが、航空運賃はじめ各種経費の高騰が続いていることから、派遣規模の見直しが今後必要である。</p> <p>●中学生英語キャンプ事業については、各学校から一定数の参加が見込まれるよう、実施期間の設定と積極的な参加勧奨が必要である。</p>			

### 健康教育の推進

事業名	実施状況	実績	評価
学校保健研究大会	毎年度、健康教育の推進に資するため、一戸町学校保健会との共催により研究大会を開催していたが、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、オンデマンド型で実施した。	3年ぶりに研究大会を実施することができた。	B
表彰関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度岩手県学校歯科保健優良校表彰</li> <li>最優秀校：一戸中学校（日本学校歯科医会会長賞）</li> <li>優良校：一戸南小学校、一戸小学校</li> <li>努力校： <ul style="list-style-type: none"> <li>鳥海小学校</li> <li>奥中山小学校、奥中山中学校</li> </ul> </li> </ul>	学校歯科保健優良校表彰において、町内6校が表彰された。	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○研究大会を実施し、学校や家庭との連携や保健活動の充実を図ることができた。また、歯科保健活動の取組が認められ最優秀校に選ばれた。			

### 心の健康問題対策の充実

事業名	実施状況	実績	評価
生と性を考える学習会	二次性徴による著しい体の変化、それに伴っておこる不安や悩みを軽減するため、町内各中学校の2学年を対象に実施した。	町内中学校2校で実施した。	B
スクールカウンセラー活用事業	学校における教育相談体制の充実や教員の資質向上を図るため、臨床心理に関して高度に専門的な知識及び経験を有する方をスクールカウンセラーとして配置した。	<b>【配置校】</b> 一戸中学校 奥中山中学校 奥中山小学校 （奥中山地区は1人で兼務）	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○性教育だけでなく、自分や他者を大切にする人間関係を築くことができた。			
○スクールカウンセラーは町内に2名配置され、全小中学校をカバーしている。			

## 第2節 学校、家庭、地域の連携による「地域とともにある学校」づくりの推進

### 地域の特色を生かした開かれた学校づくり

事業名	実施状況	実績	評価
学校評議員制度	<p>校長が教育方針や教育活動等について、学校評議員から広く意見を聞くことにより、地域や社会に開かれた学校づくりを一層推進し、学校が家庭や地域と連携協力しながら、特色ある教育活動を展開できるようにする。</p> <p>・評議員配置数：小学校 9名 中学校 5名</p>	<p>小学校2校9名、中学校1校5名を委嘱した。</p>	B
学校運営協議会	<p>奥中山地区・鳥海小学校に続き、小鳥谷小学校で設置した。また、残りの3校（一戸小・一戸南小・一戸中）で準備委員会を立ち上げ翌年度設置に向けて協議を行った。</p>	<p>奥中山地区（奥中山中学校と奥中山小学校とで共同設置）と鳥海小学校、小鳥谷小学校の計4校で設置済み。</p>	B
学校へ行こう	<p>開かれた学校づくりを目指し、学校公開を実施することにより、学校の特色を多くの町民に知ってもらおう。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、4月の実施は中止としたが、11月には実施し、それぞれの学校で授業参観等を行った。</p>	B
<p>成果と課題（○：成果、●：課題）</p> <p>○会議を開催し、評議員の意見を取り入れた学校経営に努めることができた。</p> <p>○町内の過半数の学校で運営協議会を設置できた。</p> <p>○前年度実施を取りやめた「学校へ行こう」を、令和4年度は新型コロナウイルスの感染状況に配慮しつつ1回実施することができた。</p>			

### 第3節 特別支援教育の充実

#### 適切な就学指導の推進と特別支援教育の充実

事業名	実施状況	実績	評価
教育支援委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会の開催（委員 21 名）</li> <li>・専門部会の開催（1回 委員 11 名）</li> </ul> 各学校、認定こども園、保育所等からの個別検査の依頼を受け、個別検査の分担と業務の推進を確認した。個別検査結果を分析し、総合審査会議への提出資料を作成した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合審査会議では、心身障がい児の総合審査と、教育措置について審議した。</li> </ul>	<b>【総合審査人数】</b> 児童等：72 名 就学児：4 名 小 1～中 2：68 名	B
学級補助員の配置	知的障がい、軽度発達障がい等児童生徒への対応として配置している。	<b>【配置校】</b> 一戸小 4 名・一戸南小 3 名・鳥海小 1 名・小鳥谷小 2 名・奥中山小 2 名・一戸中 3 名・奥中山中 2 名 計 17 名	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○就学支援については、健康子ども課や認定こども園、保育所等との連携を図りながら、支援を必要とする幼児等の適切な就学に向けた支援ができた。また、学級補助員等の配置により、特別支援学級等に在籍する児童の安全確保ときめ細かな指導を行うことができた。			

#### 第4節 小中学校の教育環境の整備充実

##### 学校教育機関の施設・設備の計画的な整備充実

事業名	実施状況	実績	評価
各種修繕工事	小中学校校舎等維持管理のための各種修繕を行う。	各小中学校の要望箇所について確認を行い、計画的に修繕を行った。	B
小鳥谷小学校屋内運動場屋根等改修工事	老朽化した屋根等の改修を行ったもの。	【工事費】 26,876,000 円	B
一戸小学校救助袋改修工事	経年劣化により交換を要する救助袋2台について更新に伴う改修を行ったもの。	【工事費】 3,040,000 円	B
奥中山小学校プールテント収納部シート取替工事	経年劣化により破損した収納部について改修を行ったもの。	【工事費】 2,104,300 円	B
理科教育設備整備費等補助金(国庫補助事業)	小学校3校、中学校1校を対象に、理科、算数・数学設備について備品を整備した。	【整備額】 ・小学校 418,633 円(補助209千円) ・中学校 356,400 円(補助178千円)	B
教材備品整備	全学校を対象に教材備品を整備した。	【整備額】 ・小学校 3,726,517 円 ・中学校 1,039,202 円	B
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
<p>○大規模改修を含めた各種修繕等を計画的に行い、安全な学習環境の整備が図られた。</p> <p>○理科、算数・数学設備備品を購入することにより、学習に必要な教材、設備を整備した。</p> <p>●理科、算数・数学設備備品の購入について、補助周期等の変更を検討する。</p>			

### 校外学習の輸送手段の整備

事業名	実施状況	実績	評価
スクールバス運行管理	引き続き8台のスクールバスを町内のタクシー会社へ運行委託し、児童生徒の登下校及び校外活動等へ事故無く運行できた。	スクールバス8台	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○各学校の児童生徒数に合わせてスクールバスを運行できた。			

### 安全指導体制の確立と安全管理の徹底

事業名	実施状況	実績	評価
災害共済給付事業	学校の管理下における児童生徒の傷害等に対する掛金を負担し、災害時における医療費等の自己負担分を給付した。	・給付件数：74件 ・給付額 1,092,720円	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○全児童加入により、学校管理下での傷害等に対し、金銭的給付を行い、保護者の負担軽減を図った。			

### 安全・防災に関わる連携強化と実践活動の充実

事業名	実施状況	実績	評価
地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	地域との連携を重視し、地域のボランティアを活用するなど地域社会全体で学校安全に取り組む体制を整備し、安全で安心できる学校が確立されるよう取組を行う。 ・スクールガードリーダーによる学校の巡回指導 ・一戸町交通指導隊長をスクールガードリーダーに委嘱し、町内小学校の登下校時に巡回指導を実施。 ・学校安全ボランティア（スクールガード）養成講習会 二戸警察署より講師を招き講演会を実施。 実施日：令和4年11月24日（木） 場所：一戸町コミュニティセンター	・児童及び生徒が巻き込まれる事件事故を未然に防止することができた。	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○全校のスクールガードを集め養成講習会を行った。スクールガード同士の児童生徒の登下校時の危険な状況や危険箇所等の情報交換の機会となった。 ●人口減少、高齢化にともないスクールガードの担い手が減少している。従来の活動ではスクールガードの負担が大きい。活動方法の見直しが必要。			

### 健康管理体制の見直しと推進

事業名	実施状況	実績	評価
学校健康管理事業	<p>園児・児童生徒が心身ともに健康であるために、毎年定期健康診断を実施し、疾病異常の早期発見、早期治療に努める。また、教職員の健康管理にも努め、健康診断の結果に基づいて適切な事後措置を講ずるため、町内全学校に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を委嘱した。</p> <p>昨年度に引き続き、フッ化物洗口を実施する学校に対し薬剤等購入に係る経費を全額負担した。また、平成28年度から必須検診項目となった運動器検診については、引き続き内科検診及び就学時健診時に実施した。</p>	<p>児童生徒及び教職員の各種健康診断について、適切に実施した。</p>	B
<p>成果と課題（○：成果、●：課題）</p> <p>○各種健康診断の結果に基づいた事後指導に努めるとともに、学校、保護者、学校医との連携を深めた。</p> <p>●肥満傾向児童生徒への対応について各小中学校養護教諭を連携を図る。</p>			

### 第5節 学校給食の充実

#### 食育の推進

事業名	実施状況	実績	評価
学校給食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1食給食単価 小学校 245円・中学校 274円 (児童生徒の給食費はそれぞれ26円を減額)</li> <li>・給食日数及び食数 小学校：182日 84,340食 (盛岡みたけ支援学校分含む) 中学校：182日 50,255食 (盛岡みたけ支援学校分含む) その他：196日 3,836食</li> </ul>	<p>児童生徒の給食における牛乳代のおよそ半額分(26円)を教育委員会(町)が負担し、食育に寄与した。</p>	B
学校訪問指導等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問による食育の指導</li> <li>・献立表・食育だより・献立カレンダーによる食に関する情報の提供(月1回)</li> </ul>	<p>学校訪問による食育指導を24回実施した。</p>	A
<p>成果と課題（○：成果、●：課題）</p> <p>○栄養バランスの取れた食事内容となるよう工夫し、衛生管理の徹底や食物アレルギー対応給食に対応するなど、安全でおいしい給食の提供ができた。</p> <p>●学校訪問指導について、食育センター業務との調整が必要であり、回数が制限される。</p>			

学校給食の内容改善の促進

事業名	実施状況	実績	評価
アレルギー対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会において策定した「一戸町アレルギー疾患対応指針」に基づき個別支援プランを作成し、給食対応が必要な場合には保護者面談を行ない代替食品や除去食による対応を行なった。また、安全な給食提供が困難な児童生徒については弁当対応とした。</li> </ul> <p>対象児童生徒数：27名</p>	アレルギーを持つ児童生徒に対し、安全な給食を提供することができた。	A
地元農産物の活用	<p>◆安全・安心な給食を提供するため、地元農畜産物を給食に使用した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米：いわてっこ（町内産）、黒米（町内産）</li> <li>・雑穀：町内産のいなきび、ひえ、あわ、たかきびを使用した、雑穀入りハンバーグや、いなきび入り肉じゃがなどの提供を行った。</li> <li>・野菜・果物類：サラダボウル・こずやを中心に町内産の野菜・果物を購入し使用した。</li> <li>・牛乳：奥中山高原農協乳業の牛乳を使用した。</li> </ul> <p>◆県産品である豚肉・鶏肉・短角牛などの肉類や、野菜類、海藻類を使用した。</p>	取り入れた町内産食材 米、黒米、雑穀、きゅうり、トマト、大根、白菜、キャベツ、ねぎ、しいたけ、レタス、ピーマン、ズッキーニ、ゆがお、かぼちゃ、じゃがいも、ヤーコン、うるい、りんご、米粉、牛乳、ヨーグルト、奥中山高原牛	A
給食の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御所野遺跡の世界遺産登録1周年を祝い、「御所野縄文給食」を実施した。(古代米ごはん、山菜のすまし汁、鮭ハンバーグ、栗と野菜の煮物、山ぶどうゼリー)</li> </ul>	給食を通して、世界遺産登録1周年を祝うことができた。	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<p>○アレルギー対応について、アレルギー疾患の状態と管理における共通理解が図られ、アレルギーを持つ児童生徒に対し、安全な給食を提供することができた。また、給食の活用においては、学校給食を通して、御所野遺跡の世界遺産登録をお祝いすることができた。</p> <p>●地元農産物の活用において、献立にあわせた野菜の納入時期の確保、冬場の供給確保が課題。</p>			

## 第6節 教育に関わる経済的負担の軽減、就学援助・通学対策等の充実

### 総合的な通学対策の推進

事業名	実施状況	実績	評価
遠距離通学費補助	(スクールバス以外で) 路線バスまたは徒歩等により通学している児童生徒に対して通学費(定期券等)を支給している。 通学距離規定に満たない場合でも、保護者の要望や状況により支給対象とし補助を行った。	【対象者】 ・小学校：65名 ・中学校：64名 【支給額】 ・小学校 1,239,500円 ・中学校 4,442,260円	B
成果と課題(○：成果、●：課題)			
○通学距離規定に満たない場合でも、保護者の要望や状況により支給対象とし補助を行った。 ●今後、人口減少に伴う学校の統廃合が進んだ場合、定期路線バス等の公共交通機関が運行していない地区から通学となる可能性がある。			

### 小・中学校の適正配置と就学区域の弾力化の推進

事業名	実施状況	実績	評価
学区外、区域外就学の許可	・転居により就学校が変更する場合や特別支援学級への就学を希望する場合など、保護者の申請により要綱に基づき学区外就学を認めている。 ・区域外就学も保護者の申請により年度途中の転出入や通学距離を考慮し、該当市町村と協議のうえ認めている。	・学区外就学 新規申請3件：許可 継続：4件 ・区域外就学 新規申請2件：全て許可 継続：1件	B
成果と課題(○：成果、●：課題)			
○児童生徒の教育環境や通学に配慮し、対応した。 ●制度や手続き方法について周知する。			

その他で担当している業務分

事業名	実施状況	実績	評価
要保護、準要保護児童生徒就学援助費	<p>経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対して必要な援助を行った。</p> <p>学校を通じ、家庭の収入状況が減少した場合も随時申請を受付し、切れ目の無い支援を行った。</p> <p>年度途中の認定についても切れ目無く支給費目について支援を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 要保護：4名 準要保護：45名 支給総額 3,075,410円</li> <li>・中学校 要保護：3名 準要保護：27名 支給総額 3,747,725円</li> </ul>	B
教科書無償給与	<p>各小中学校へ教科書の無償給与を行った。</p> <p>一般図書や拡大教科書等の給与は需要がないために行われなかった。</p>	<p>【給与総数（転学用含む）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 4,233冊</li> <li>・中学校 2,289冊</li> </ul>	B
部活動指導員の配置	<p>全国的に部活動の在り方についての議論が進む中、学校教育活動の一層の充実と教員の「働き方改革」の実現を図ることを目的に実施した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一戸中学校 剣道部1名、卓球部2名、バレーボール2名</li> <li>・奥中山中学校 陸上1名、特設スキー部3名 (うち1名は陸上からの継続)</li> </ul>	C
<p>成果と課題（○：成果、●：課題）</p> <p>○無償給与される小中学校の教科書について、遺漏なく事務を進めることができた。</p> <p>○中学校2校に部活動指導員を配置し、教職員の負担軽減を図ることができた。</p> <p>●文化部の指導員の人員確保。</p>			

## 第7節 教職員の資質の向上

### 教員研修の充実

事業名	実施状況	実績	評価
学級経営研修会	<p>学級担任を対象に、望ましい人間関係づくりを促進する学級経営の在り方について研修を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象：小中学校学級担任と希望者</li> <li>・期日：令和4年7月26日（火）</li> <li>・会場：一戸町立一戸南小学校</li> <li>・内容：講義・演習（事例検討）</li> </ul> <p>講義「Q-Uを用いた学級経営事例検討（K-13法）の実際」</p>	各学校から7名出席	B
校長管外視察研修	<p>管外の先進校において、新しい教育課題の指導実践等視察を行い、学校経営の向上に資する。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象：教育委員会事務局</li> <li>・期日：令和4年11月21日（月）～22日（火）</li> <li>・視察先：横浜市立東山田中学校 横浜市立羽沢小学校</li> <li>・研修内容</li> </ul> <p>①「コミュニティスクールを活かした取組と学校経営について」（東山田中学校）</p> <p>②「SDGsの先進的な取組と学校経営について」（羽沢小学校）</p>	計画したが各校の事情等により一戸町教育委員会の2名で実施	B
副校長管外視察研修	<p>管外の先進校において、新しい教育課題の指導実践等視察を行い、指導力の向上に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象：町内小・中学校副校長</li> <li>・期日：令和4年12月9日（金）</li> <li>・視察先：宮城県岩沼市立岩沼小学校</li> <li>・研修内容</li> </ul> <p>①学校経営について</p> <p>②授業等でのICT活用について</p>	町内各校から6名参加（一戸小学校は都合により欠席）	B
教務主任研修会	<p>町内小中学校の教務主任を対象に、研究協議等を通じて教務主任の在り方や教育課程の進行管理等について研修を深め、指導力の向上に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和5年2月24日（金）</li> <li>・会場：一戸地区センター</li> </ul>	例年どおり開催した。	B
小中合同研修会	<p>小学校・中学校の連携を強化し、児童生徒の健全育成や学力向上に関する研究・研修を行い、教育水準の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施区域：一戸中学校区・奥中山中学校区</li> </ul>	例年どおり開催した。	B

成果と課題（○：成果、●：課題）

○学級経営研修会は会津大学文化研究センター教授の荻間澤勇人氏からQ-Uを活用した事例検討等の講義を頂き、今後の学級経営の充実にする事ができた。  
 ○校長並びに副校長管外視察研修は計画を変更した点もあったが実施し、管外の教育事情を把握することができた。その他の研修は予定どおり実施することができ、各学校の諸課題や情報交換を通じて所期の研修目的が達成できた。

生きる力を育む教育の研究と実践

事業名	実施状況	実績	評価
総合的学習事業	「総合的な学習の時間」において、児童生徒に「生きる力」を培うために、町内小中学校独自の研究を推進し、望ましい支援のあり方や資料等の整備充実を図り、一戸町の教育水準の向上に資する。 ・対象校：小中学校全校	全小中学校が実施した。	B
いちのへ御所野縄文学事業	御所野縄文文化について探究的に学ぶ教育実践の充実を図ることを通して、主体的・対話的・探究的に学ぶ力を育むとともに、地域を愛し、「ふるさと」である一戸を誇りに思う児童生徒の育成に資する。（全小中学校対象） ・いちのへ御所野縄文学事業推進委員会の開催 ①令和4年6月29日 総合的な学習時間等の授業実践 ②令和4年7月27日 転入教職員対象 ③令和5年3月 実践交流会・・・各校による発表等 ・世界遺産学習連絡協議会への加盟 趣旨：世界遺産や地域の文化遺産、自然環境などESD（持続可能な開発のための教育）に関する優れた実践活動の交流を通して、それぞれの地域の取組を発信し合い、互いに学び合うことで生まれ育った地域に誇りを持ち、持続可能な社会の担い手としての意欲や態度を養う。	全小中学校が実施した。          一戸町の教育実践を報告書にて提出した。	B

成果と課題（○：成果、●：課題）

○総合的な学習では、各学校や地域の特色を踏まえた学校独自の課題を設定し、計画的に調査研究を進めることができた。  
 ○第1回目のいちのへ御所野縄文学事業推進委員会では、奥中山小学校6学年の「地域の特長を生かした町づくりについて」をテーマにした総合的な学習の時間の授業を参観し、実践の在り方について、学び合うことができた。

学校の実態を生かした教育の充実

事業名	実施状況	実績	評価
研究指定校等研究事業	<p>町内の小中学校の研究指定校並びに研究実践校等の研究や実践の推進を図り、教育水準の向上に資する。</p> <p>◆学校公開研究会            一戸小学校（令和4年11月8日）            ・研究主題「主体的に生き生き学ぶ子どもの育成」（岩手県教育委員会「いわて学びの改革研究事業」指定：一戸町教育委員会・二戸地区教育推進協議会指定）            一戸中学校（令和4年11月8日）            ・研究主題「学び合いの中で自分の考えを表現できる生徒の育成」（岩手県教育委員会「いわて学びの改革研究事業」指定：一戸町教育委員会・二戸地区教育推進協議会指定）</p> <p>◆特色ある学校づくり推進            ・一戸小学校「地域資源を活用した健康な心と体づくり」～知・徳・体のバランスのとれた人間育成のための地域資源の活用を通して～            ・一戸南小学校「自ら考え、向上心をもって学習する子どもの育成」～算数科において、自分の考えを確かなものにするための交流の工夫を通して～            ・鳥海小学校「自らかかわり学びゆく子どもが育つ授業」～「目的意識」を大切にした算数科複式指導を通して～            ・小鳥谷小学校「自ら考え、学習を進める児童の育成」～算数科における考えを伝えるための支援の工夫、考えを深める場面の工夫を通して～            ・奥中山小学校「主体的・対話的に学ぶ児童の育成」～言葉による見方・考え方を働かせた言語活動の充実を通して～            ・一戸中学校「学び合いを通して自分の考えを表現できる生徒の育成」～ICTを活用した学び合いの工夫を通して～            ・奥中山中学校「自分の思いを主体的に伝える生徒の育成」～伝える場面の工夫を通して～</p>	<p>県内の学校関係者等150名以上の参加により開催した。</p> <p>全小中学校が実施した。</p>	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○一戸小学校及び一戸中学校の学校公開研究会では、授業等にICTを積極的に活用しながら、児童の資質・能力の育成を図るための具体的な実践について管内・管外へ発信することができた。			

○特色ある学校づくりの推進に係る研究事業については、各学校の特色を活かした教育活動を実施できた。

## 第8節 いじめ、不登校等への対応の充実

### 不登校・非行・いじめなどの問題の未然防止、解消

事業名	実施状況	実績	評価
一戸町いじめ問題対策連絡協議会	<p>一戸町いじめ防止基本方針のもと、一戸町内の小学校・中学校、関係諸機関等との連携を図り、いじめ問題の未然防止や早期発見・早期対応をめざした取組の充実に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議：令和4年5月6日（金）</li> <li>・対象：二戸警察署生活安全課長・一戸交番所長・岩手県総合福祉相談センター福祉司・盛岡地方法務局二戸支局・一戸町健康子ども課長・一戸町主任児童委員・県北教育事務所指導主事・在学青少年指導員・一戸高等学校長・一戸町校長会代表2名</li> <li>・会場：一戸地区センター</li> </ul>	1回開催	B
学校警察連絡協議会	<p>児童生徒の健全育成のため、一戸町内の小・中学校・高等学校が生徒指導について、相互に綿密な連携を図るとともに、関係諸機関等と連携を密にし、生徒指導の充実に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議：①令和4年7月1日（金） ②令和4年12月1日（木）</li> <li>・対象：二戸警察署生活安全課長・一戸交番所長・小鳥谷駐在所長・中山駐在所長・各少年補導員・各小中学校長・一戸高等学校長・各校生徒指導主事又は担当者</li> <li>・会場：①一戸地区センター、②一戸高校</li> <li>・内容：岩手県警察スクールサポーター 佐々木 浩実氏と二戸警察署生活安全課長による講話と情報交換</li> </ul> <p>※毎回、学校警察連絡協議会に合わせて、生徒指導連絡協議会を開催している。</p>	2回開催	B

学級生活満足度調査（Q-U）	児童生徒の学級生活に対する満足感について実態を調査し、集団の中であたたかな人間関係づくりに役立てる。 ・調査学年：全校小学校4学年以上 ・調査回数：年2回（5月・11月） ※実施期日は各学校の裁量による	各校2回実施	B
成果と課題（○：成果、●：課題） ○一戸町の学校におけるいじめや児童生徒の問題行動の実態を関係機関と共有・情報交換により今後の生徒指導に資することができた。 ○Q-Uの調査により学級経営の指標とすることができた。また、夏季休業中にQ-Uを分析する教職員による研修会を開催して活用を図った。			

## その他

### 学校の管理運営

事業名	実施状況	実績	評価
町立学校職員の任免・分限処分及び懲戒処分並びに服務等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県教委の指導により、適切に処理している。</li> <li>・綱紀保持については、これまで機をみて指導を行ってきたところであるが、軽微ながら交通事故（単独自損）が発生したことから、あらためて啓蒙に努める。</li> </ul>	処分の対象者なし	B
町立学校職員の給与・勤務時間・勤務条件等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県教委の指導により、適切に処理する。</li> </ul>	適切に処理した。	B
奨学及び育英	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆町育英会事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・償還対象者へ納付書の送付を行った。償還金について郵便による督促等の取り組みを行っている。</li> </ul> </li> <li>◆田村清蔵奨学基金               <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用者の決定を行った。</li> <li>・信託利益が上がらず、基金を取崩し給付している状況である。</li> </ul> </li> </ul>	<b>【新規採用者】</b> ・高等学校 0名 ・各種学校 0名 ・大学 0名  <b>【新規対象者】</b> ・大学 2名	B
学校事務の共同実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正且つ効率的な学校事務の管理体制の確立が図られてきた。</li> <li>・共同実施組織と教委事務局との意見交換の場を設け、事務処理の改善に努めた。</li> </ul>	適正に進めることができた。	B

成果と課題（○：成果、●：課題）

●田村清蔵奨学基金は、基金を取り崩しているため、あと数年で枯渇してしまう。

健康意識の高揚に関わる組織強化と機能化

事業名	実施状況	実績	評価
一戸町学校保健会報の発行	町内小中学校教職員及び保護者、幼稚園・保育所等の職員及び保護者、医療関係者等へ年2回発行した。	年2回の発行を行った。	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○学校保健思想の普及及び啓発が図られた。			

## 社会教育事業実施状況

### 第1章 生涯学習社会の構築

#### 第1節 多彩で特色ある学習プログラムの整備

A：計画以上の成果を上げた B：達成できた  
C：おおむね達成 D：達成できなかった

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. いちのへ町民セミナー	<b>【共通課程】</b> ○期日及び内容 ①「田舎だからこそできるSDGs」 一戸町地域おこし協力隊 渡辺達也 氏 6月18日 一戸地区センター（開講式）	受講生 ① 23名	B
	②「わたしと家族の『そうぞく』講座」（全3回） 明治安田生命保険相互会社 竹原浩之 氏 (1)“相続”と“争族”のはなし 7月8日 一戸地区センター (2)最適な「MYライフ&エンディング」を考えよう 9月22日 一戸地区センター (3)笑顔を運ぶ「遺言」のお話 10月5日 一戸地区センター	②7/8 18名 9/22 12名 10/5 12名	
	③「スポーツと健康科学」 9月10日 一戸町武道場 士道館 富士大学 内城寛子 氏	③ 16名	
	④「天津木村講演会」 1月22日 コミュニティセンター（閉講式） いわて応援芸人 天津木村 岩手住みます芸人 アンダーエイジ	④ 143名	
	<b>成果と課題</b> (○：成果、●：課題)		
○ 開講式を兼ねた第1回目の講演では、地域おこし協力隊の協力を得て、世界中で取り組んでいる『SDGs』について理解を深めることができた。 ○ 受講者アンケートでは、「ためになった」や「わかりやすかった」などの感想が多く、全講座を通して好評を得ることができた。 ● 令和4年度の受講者数は、各コース開催分を含めると延べ539人となった。総合計画基本計画の目標値420人を上回ったが、参加者の高齢化、固定化を解消するための工夫が必要。			

#### 第2節 地域における自主的学習の促進と学習団体などの育成

事業名	実施内容	参加人数	評価
2. 社会教育関係団体の育成	○期日 年間 ○内容 団体活動補助金の交付 ○対象 ①一戸町子ども会育成連絡協議会（28団体 485名） ②一戸町地域婦人団体協議会（8団体 85名） ③一戸町PTA連絡協議会（7校 605名） ④一戸町文化協会（24団体 181名） ⑤一戸ユネスコ協会（個人会員98名 団体会員34団体）	-	B
	<b>成果と課題</b> (○：成果、●：課題)		
○ 関係機関に補助金を交付することにより、各団体の活動の活性化が図られた。			

### 第3章 青少年の健全育成

#### 第1節 指導者の発掘・養成

事業名	実施内容	参加人数	評価
3. 子ども会・育成会上級生研修会等	1回目 ○期日 7月10日 御所野縄文博物館 ○内容 体験活動（土器の観察など） 2回目 ○期日 2月12日 コミュニティセンター（予定） ○内容 体験活動・レク活動・かべ新聞	1回目 小学生 7名 保護者 5名 高校生 3名 2回目 小学生 11名 保護者 9名 高校生 3名	B
4. 岩手県ジュニアリーダー研修会	○期日 12月24日～27日 県北青少年の家 ○内容 福祉ボランティア活動等	高校生 1名 担当者 1名	B
成果と課題 (○：成果、●：課題)			
<p>○ 7月の研修会は、御所野で通常時に行っている手づくり体験プログラムにはない、特別な体験を提供することができた。高校生ボランティアの3人は、缶バッジづくりのリーダーとして活躍いただいた。</p> <p>○ 2月の研修会は、かべ新聞コンクールの発表と防災をテーマにしたワークショップを行った。かべ新聞コンクールでは、中学生ボランティアが司会を務め、2子ども会が活動の様子を発表した。ワークショップでは、関東で会社員をしながら防災を広めるための活動をしている町出身者に講師をお願いし、災害の恐ろしさや、いざというときの応急処置について学んだ。</p> <p>上記2回の研修を開催することで、学習機会を提供すると共に、子ども同士、保護者同士の学区を越えた交流の場を創出することができた。</p> <p>● 県ジュニアリーダー研修会は、当初夏に開催予定だったが、感染症の影響により年末開催となってしまう、参加者が1人のみとなってしまった。参加者高校への働きかけが不十分だった可能性もあるため、次年度以降の参加呼びかけを工夫する必要がある。</p>			

#### 第2節 子ども行事の活性化

事業名	実施状況	参加人数	評価
5. 放課後子ども教室事業 (学校・家庭・地域連携協力推進事業：国庫補助)	○期日 4月～3月 ○場所 ①旧一戸幼稚園（週5日） ②旧鳥越小学校（週5日） ③鳥海地区センター（週5日） ④小鳥谷地区センター（週3日程度） ⑤奥中山小学校（週5日） ○内容 平日放課後の居場所として子ども教室を開催	登録者数 ① 28名 ② 7名 ③ 19名 ④ 13名 ⑤ 44名	B
6. 少年団体育成指導委員会議	○期日 ①5月11日 書面開催 ②2月22日 一戸地区センター ○内容 町子連行事への指導助言及び運営協力	①委員 1名 ②委員 5名	B
7. いわて希望塾（県）	○期日 11月19日 県北青少年の家 ○内容 岩手県主催の標記事業へ参加し、青少年の人間力を総合的に養うもの	中学生 2名	B
8. 子ども会ドッジボール大会	○期日 11月23日 一戸地区センター体育館	低学年4チーム 高学年5チーム 合計 115名	B
9. 新年かきぞめ大会	○期日 1月7日 コミュニティセンター	小学生 ～ 一般 70名	B

10. 管内子どもの読書活動推進連絡会議（県）	○期日 5月25日 二戸市立図書館 ○内容 子どもの読書活動を推進するための体制や事業について、共通理解と情報交換を行う。	担当者 1名 図書館職員1名	B
11. 管内読書ボランティア等研修会（県）	○期日 9月9日 久慈地区合同庁舎 ○内容 子どもの読書活動を推進するため、関係機関やボランティア団体との情報交換、研修を行う。	図書館職員1名	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○ 放課後子ども教室では、各方面からの協力をいただきながら、多彩な経験をさせることができた。新型コロナ禍ではあったが、オンラインを活用するなど工夫してイベントを開催できた。			
○ コロナ禍で人と人との交流が減る中、町子連行事を通じて、学校の枠を超えた交流を図ることができた。ドッジボール大会は、子ども会を組織していない地区からの参加希望もあり、十分な参加チーム数を確保することができた。			

### 第3節 健全な社会環境づくりの推進

#### 家庭教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
12. 管内子育て支援ネットワーク研修会（県）	○期日 10月21日 二戸地区合同庁舎 ○内容 家庭教育支援のあり方、子育てサポーター活用の協議、情報交換等を行う。	4名	B
13. 家庭教育学級（小・中学校）	○期日 年間 町内小中学校 ○対象 児童生徒、親等 ○内容 ①一戸小学校（5講座） ②一戸南小学校（5講座） ③鳥海小学校（6講座） ④小鳥谷小学校（4講座） ⑤奥中山小学校（4講座） ⑥一戸中学校（5講座） ⑦奥中山中学校（3講座）	①一戸小学校 638名 ②一戸南小学校 90名 ③鳥海小学校 155名 ④小鳥谷小学校 98名 ⑤奥中山小学校 270名 ⑥一戸中学校 342名 ⑦奥中山中学校 166名	B
14. 家庭教育学級（幼児）	○内容 幼児と保護者を対象とした体験教室等を開催する。	—	D
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○ 情報メディアの付き合い方に関する講座等を実施することにより、教育振興運動と連携した活動となった。			
○ 各小中学校単位での家庭教育学級では、それぞれが重点学習課題を定め、保健教室や情報モラル学習会、ものづくり体験など、児童及び保護者を対象とした学習の場を提供することができた。			
● 幼児教育アドバイザーが不在となり、幼児を対象とした家庭教育学級事業を計画どおり進めることができなかった。次年度は、一戸地区センター事業として実施した魅力再発見ツアーのような、町内でできる親子での体験活動を企画・実施したい。			

#### 教育振興運動の推進

事業名	実施内容	参加人数	評価
15. 教育振興事務局長会議	○期日 5月10日 一戸地区センター ○内容 令和4年度教育振興推進計画と実践内容、家庭教育学級について	事務局等 9名	B
16. 地域学校協働活動・教育振興運動推進研修会（県）	○期日 5月18日（水） オンライン開催 ○内容 全県共通課題の解決に向けた協議・情報交換等	1名	B
17. 教育振興運動推進委員会総会	○期日 7月19日 一戸地区センター ○内容 令和3年度報告及び令和4年度計画案等	委員等 35名	B

18. 地域とともにある学校づくり推進フォーラム（県）	○期日 6月22日 二戸市民文化会館 ○内容 地域と学校の連携・協働やコミュニティ・スクールについて	4名	B
19. 教育振興実践記録集の発行	○各学校（実践区、地区協議会）で取り組む活動を1冊にまとめた記録集を発行。家庭教育学級の取り組みも収録。（年1回、年度末発行）	80部	B
20. 地域学校協働本部事業 （学校・家庭・地域連携協力推進事業：国庫補助）	○期間 4月～3月 ○目的 地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域との連携体制の構築を図るとともに、多様な形態の教員支援を行い、子どもと向き合う時間の拡充を図る。 ○内容 地域住民による学習支援、図書ボランティア、スクールガード、その他各種学校支援	導入校： 一戸南小 鳥海小 奥中山小 奥中山中 小鳥谷小	B
21. 地域学校協働活動のための推進委員養成研修会（県）	○期日 10月5日 久慈地区合同庁舎 ○内容 地域学校協働本部事業に携わる地域コーディネーター、教職員等を対象とした資質向上、連携促進及び事業推進に向けての情報交換等。	地域コーディネーター 3名 教職員 2名	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○ 地域学校協働本部事業は、導入している5校において、地域・家庭と連携した活動が展開されている。一戸小学校、一戸中学校においても令和5年度からの事業導入に向けて準備を進めているところである。 ● 各本部（学校）に配置している地域コーディネーターの資質向上のため、県が開催する研修会へ派遣したが、都合により参加できなかった人もいた。定期的なミーティング等により、コーディネーター同士が意見交換・情報共有が必要である。			

○その他

#### 推進体制の充実

事業名	実施内容	参加人数	評価
22. 生涯学習推進本部 ①推進本部会議 ②推進本部幹事会議	生涯学習に関する各課等相互の連絡調整。	随時 （4年度は未開催）	B
23. 生涯学習推進協議会	生涯学習に関する必要な事項を協議し、町民の自主的、主体的な生涯学習を推進。	随時 （4年度は未開催）	B
24. 二戸地区社会教育担当者会議	○期日 ①7月5日 二戸地区合同庁舎 ②9月29日 久慈地区合同庁舎 ③11月25日 岩手県北青少年の家 ④2月17日 久慈地区合同庁舎	① 1名 ② 1名 ③ 2名 ④ 2名	B
25. 管内生涯学習・文化行政主管課長会議	○期日 4月26日 久慈地区合同庁舎	2名	B

26. 二戸地区社会教育 部 会 別 会 議 (共)	○期日 5月20日 二戸地区合同庁舎 ○内容 図書館、文化財、公民館の3部会ごとに分かれて開催。	9名	B
27. 社会教育委員 会議	① ○期日 8月10日 一戸地区センター ○内容 令和3年度社会教育関係事業実施状況について 令和4年度 // 計画等について ② ○期日 12月21日 一戸地区センター ○内容 令和4年度社会教育関係事業実施状況について 令和5年度の重点施策について	①委員 10名 ②委員 8名	B
28. 二戸地区社会教育連絡協議会総会・学習会	○期日 6月2日 二戸地区合同庁舎	委員 9名	B
29. 二戸地区社会教育委員等研修会	○期日 11月11日 都南公民館キャラホール(盛岡市) ○内容	1名	B
30. 二戸地区社会教育委員等研修会	○期日 10月13日～14日 福島県(開催県以外はオンライン)	参加なし	D
31. 生涯学習指導員の設置	指導員と町広報紙、ホームページを活用し、生涯学習の普及、啓蒙と情報を発信。	2名	B
32. 広報活動		通年(町広報紙、ホームページ)	C
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
○ 関係機関との連絡調整及び情報交換を図ることができた。 ● 既存の広報媒体のほかに、SNS等を活用した広報活動が必要。			

### 生涯学習の普及推奨

事業名	実施内容	参加人数	評価
33. 生涯学習カレンダーの作成	○期日 年1回(4月) ○内容 町内生涯学習関係行事等	配布 町内全戸配布	B
34. 学習相談事業の実施	学習内容への助言、講師等の紹介	年間 随時	B
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
○ 生涯学習活動のきっかけづくりとなった。 ○ 年間行事を周知することにより、各団体等の事業計画の参考となった。			

## スポーツ振興事業実施状況

### 第4章 スポーツの推進

#### 第1節 スポーツ団体の育成及び指導者の確保

##### ○指導者養成

A：計画以上の成果を上げた B：達成できた

C：おおむね達成 D：達成できなかった

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. 岩手県スポーツ推進委員協議会総会	○期日 5月25日 ・令和3年度事業報告、決算について ・令和4年度事業計画、予算について	書面開催	B
2. 岩手県スポーツ推進委員研修会	○期日 8月27日（宮古市）	【中止】	—
3. 東北地区スポーツ推進委員研修会	○期日 7月8日～9日（青森県八戸市）	【中止】	—
4. 全国スポーツ推進委員研究協議会	○期日 11月16日～19日（滋賀県大津市）	スポーツ推進委員 2名 担当者 1名	B
5. 二戸地区生涯スポーツ研修会兼スポーツ交流会	○期日 3月5日（一戸町武道場）	スポーツ推進委員 10名	B
6. 岩手県スポーツ推進委員初任者研修会	○期日 12月4日（北上市）	スポーツ推進委員 0名	—
7. 一戸町スポーツ推進委員研修会	○期日 3月5日（一戸町武道場）	スポーツ推進委員 10名	B
8. 一戸町スポーツ推進委員障がい者交流会	○期日 11月12日（一戸町体育館）	スポーツ推進委員 4名	B
成果と課題 ○：成果、●：課題			
○中止となる研修会もあったが、参加できた研修会ではスポーツ推進委員の資質向上が図られた。 ●推進員のご協力いただける方々が同じ顔触れになりがちなので、今後も事業の周知を行う。			

##### ○奨励活動

事業名	実施内容	参加人数	評価
9. スポーツ賞表彰式	期日 3月2日	表彰者 個人 68名 団体 8団体	B
成果と課題 ○：成果、●：課題			
○優秀な成績を収めた個人・団体を表彰することで機運醸成・競技力向上が図られた。			

##### ○団体育成

事業名	実施内容	参加人数	評価
10. スポーツ団体の育成	年間（体育協会、スポ少、種目別協会）	体育協会 20団体 スポ少 9団体	B
成果と課題 ○：成果、●：課題			
○大会への派遣助成や統括団体への助成を行うことで、選手の育成が図られた。 ●少子化により団体加入者が減る傾向にあるので、各団体と協力し団体加入者が増えるようにする。			

第2節 スポーツ・レクリエーション実践活動の促進

○体カづくり関係

事業名	実施内容	参加人数	評価
11. 第12回一戸町長杯なぎなた競技会	○期日 6月4日 (一戸町武道場)	小、中 男女 37名	B
12. 第38回一戸町総合スポーツ大会	①ゲートボール競技 ○期日 6月12日 (奥中山高原開拓記念公苑) ②ソフトボール競技 ○期日 6月12日 (一戸小学校) ③軟式野球競技 ○期日 6月12日 (一戸中学校) ④バレーボール競技 ○期日 12月4日 (一戸中学校) ⑤卓球競技 ○期日 12月4日 (一戸町体育館) ⑥ビーチボール ○期日 12月4日 (一戸小学校)	①4チーム 23名 ②中止 ③中止 ④中止 ⑤中止 ⑥4チーム 40人	C
13. 未就学児運動能力測定会	○期日 6月30日 (一戸町体育館) 7月5日 (奥中山小学校)	町内保育園児 78名 23名	A
14. 第65回町民体育大会	○期日 8月 奥中山 9月 平糠 9月25日 鳥海 10月 小鳥谷 10月 西法寺 10月 姉帯	【中止】 【中止】 200名 【中止】 【中止】 【中止】	C
15. 第47回町民ロードレース	○期日 10月1日 (陸上競技場)	小、中、一般男女 ロードレース 308名	B
16. 第47回一戸町駅伝競走	○期日 10月1日 (陸上競技場)	【中止】	—
17. 第32回ゲートゴルフ大会	○期日 10月10日 (総合運動公園)	小中一般男女 47名	B
18. 第12回一戸町秋季なぎなた大会	○期日 10月8日 (一戸町体育館)	小、中、高 男女 60名	B
19. 第1回一戸町ゲートボール大会	○期日 11月13日 (屋内ゲートボール場)	一般男女 8チーム	B
20. 町民スポ・レク学級	○期日 1年間 (町内希望団体)	幼児、小中一般 男女延べ81回 973名	B

21. なぎなた教室	○期日 1年間（一戸、小鳥谷、奥中山地区）	小、中、高、一般 75名	B
22. スキー教室	○期日 1月8日（奥中山高原スキー場）	小、中、一般男女 アルペン25名 クロカン10名	B
23. テニス教室（テニスコートリニューアル記念）	○期日 9月18日（総合運動公園テニスコート）	町内小中学生 22名	B
24. オクトーバーラン&ウォーク2022	○期日 10月1日～31日	町内中、高、一般 ウォキングの部 39名 ランニングの部 14名	B
成果と課題 ○：成果、●：課題			
●昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため一部事業が中止となった。 そのような中で、感染対策を施しながら開催できた事業や新規事業もあり、今後も可能な範囲での事業開催を進めていきたい。			

### ○地区スポーツ振興会等事業

事業名	実施内容	参加人数	評価
25. 〔奥中山〕 ★奥中山地区総合体育大会 ソフトボール ゲートボール バレーボール 卓球 ★登山 ★ボウリング交流会 ★グラウンドゴルフ交流会 ★ゴルフ交流会	◎奥中山高原クラブ 奥中山小体育館ほか  青年・一般男 60才以上男女 一般女子 一般男女 一般男女 一般男女 一般男女 一般男女	【中止】	—
26. 〔小鳥谷〕 ★ソフトボール大会 ★ビーチバレーボール大会	◎小鳥谷地区スポーツ振興会 旧小鳥谷中学校 一般 小鳥谷公民館 一般	【中止】	—
27. 〔鳥海〕 ★ソフトボール ★ソフトバレーボール ★鳥海地区 <sup>△</sup> サッカー戦 ★カローリング教室	◎鳥海地区スポーツ振興会 鳥海小 一般男子 鳥海小 一般女子 鳥海小 一般男女 鳥海小 児童教員一般男女	【中止】 【中止】 のべ53名 【中止】	C
成果と課題 ○：成果、●：課題			
○昨年度と同様、多くの事業が中止となったが、鳥海地区のペタンクリーグは実施できた。 ●中止が継続し、再開するのが困難になる事も考えられるので、多くの人が参加しやすいような内容の見直しが必要である。			

### ○体育施設の開放

事業名	実施内容	参加人数	評価
28. スポーツの場開放	○期日 4月～3月 鳥越小、鳥海小、奥中山小、小鳥谷中、旧宇別小	468回 延べ7,504人	B
成果と課題 ○：成果、●：課題			
○地域でスポーツする機会と場を確保する一助となることができた。 ●設備の老朽化や参加者の固定化、減少が共通の課題となっている。			

### 第3節 スポーツ交流の促進

#### ○各種大会の開催と協力

事業名	実施内容	参加人数	評価
29. 早起き野球リーグ	○期日 7月～8月(4チーム)	【中止】	—
30. 第37回岩手県50歳野球大会	○期日 6月25日～26日(一戸野球場・九戸村ナインズ球場他)	29チーム520名	B
31. 第74回岩手県民体育大会	○期日 8月(県内市町村)	一般男女 6種目 38名	B
32. 第50回町民登山	○期日 7月3日(八甲田山)	一般男女 24名	B
33. 一戸町長杯ペタンク大会	○期日 月 日(総合運動公園)	【中止】	—
34. 一戸町希望郷ペタンク大会	○期日 月 日(総合運動公園)	【中止】	—
35. 北岩手南青森中学校体育大会	○期日 月 日(総合運動公園他)	【中止】	—
36. 第7回一戸町長杯・第9回御所野縄文史跡公園杯G・G大会	○期日 9月29日(総合運動公園)	一般男女 103名	B
37. 柴田俊春杯中学校野球大会	○期日 月 日(総合運動公園)	【中止】	—
38. 第52回北岩手南青森親善バレーボール大会	○期日 月 日(一戸町体育館)	【中止】	—
39. 会長杯ターゲットハートゴルフ大会	○期日 11月5日(ターゲットハートゴルフ場)	一般男女23名	B
40. 2023 FISCHER CUP クロスカントリースキー奥中山高原大会 兼 第63回一戸町小中学校スキー大会	○期日 1月28日(奥中山高原スキー場)	小、中、高、一般 152名	B

41. 2023 ROSSIGNOL CUP 奥中山高原スキー大会 兼 第63回一戸町小中学校スキー大会	○期日 1月28日 (奥中山高原スキー場)	小、中、高、一般 72名	B
42. 第16回奥中山高原クロスカントリースキー大会	○期日 2月19日 (摺糠地区特設コース)	小、中、高、一般 123名	B
43. なぎなた競技各種大会派遣事業	○令和4年度東北・北海道ブロックジュニア強化練習会 ○第74回岩手県高等学校総合体育大会なぎなた競技 ○第30回全国中学生なぎなた大会 ○全日本ジュニア強化合宿 ○日本少年武道(なぎなた)錬成大会 ○全国高等学校総合体育大会なぎなた競技 ○第27回岩手県高等学校新人なぎなた大会  ○東北高等学校なぎなた選抜大会 ○全国高等学校なぎなた選抜大会	中止 高校生 8名 中学生 12名 中学生 12名 小中学生 30名 高校生 4名 高校生 2名  高校生 2名 高校生 2名	A
成果と課題 ○: 成果、●: 課題			
○中止となった大会もあったが、開催した大会については関係団体への補助を行うことにより、主催団体の組織強化、運営力の向上が図られた。 ○今年はインターハイで一戸高校が演技競技でダブル入賞をする快挙を上げることができた。中学生においても全国大会で入賞を果たしており、今後も小・中・高校の連携を取りながら強化していきたい。			

○その他(推進体制)

事業名	実施内容	参加人数	評価
44. 学校開放管理指導員会議	○期日 4月16日 (総合運動公園) ・令和3年度反省及び4年度事業計画について	書面開催	B
45. 市町村生涯スポーツ担当者会議	○期日 4月26日 (リモート参加) ・令和4年度事業計画について	担当者 2名	B
46. 一戸町スポーツ推進委員会会議	○期日 ①5月13日 (一戸地区センター) ・令和4年度事業計画について ②3月5日 (一戸町武道場) ・令和4年度事業報告について	スポーツ推進委員 15名 スポーツ推進委員 10名	B
47. 二戸地区スポーツ推進委員協議会総会	○期日 5月20日 ・令和3年度事業報告、決算について ・令和4年度事業計画、予算について	スポーツ推進委員 10名	B
48. 体育協会、スポーツ少年団各種大会監督者会議等諸会議	○期日 6月10日 (一戸地区センター) ・一戸町体育協会令和4年度定期総会 ○期日 6月24日 (クラブハウス会議室) ・一戸町スポーツ少年団令和4年度定期総会	体協会員 40名 スポ少会員 6名	B
成果と課題 ○: 成果、●: 課題			
○新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため書面開催やリモートでの参加とするケースがあったものの、集合式の会議が増え、今年度の計画概要の把握と確認が出来た。			

## 地区センター事業実施状況

### 【一戸地区センター】

#### 第1章 生涯学習社会の構築

##### 第1節 多彩で特色ある学習プログラムの整備

###### 成人教育

A：計画以上の成果を上げた B：達成できた  
C：おおむね達成 D：達成できなかった

事業名	実施状況	参加人数	評価
1. いちのへ町民セミナー	<b>【身近なライフコース】</b> ○期日及び内容 ① 6月29日 「デュアルタスクでイキイキ脳」 一戸町生涯学習・協働推進課 佐藤 孝則 NPO スポーツウェルネス 伊藤 礼子 氏 ② 7月26日 現地研修：「カダルテラスを味わう」 行き先：二戸市 カダルテラス 株式会社カダルミライ代表 大清水吉典 氏 ③ 10月12日 「つぶつぶビーガン食!!!」 未来食つぶつぶ認定講師・つぶつぶマザー伊藤 信子 氏 ④ 11月10日 「これからの高齢者コミュニティのあり方」 岩手保健医療大学 相澤 出 氏 ⑤ 1月13日 「糖尿病は恐ろしい」 町健康福祉課職員	受講生 ① 11名 ② 5名 ③ 12名 ④ 9名 ⑤ 7名	B
2. 各種教室の開催	① ハッピーウォーク2022 ○期日 10月23日 一戸駅～御所野縄文公園～花の丘公園 ○内容 駅から公園までの間をウォーキングしながら道路の清掃活動、博物館内の見学 ② いちのへ魅力再発見町民ツアー ○期日 11月5日 鳥越地区（千本桜、鳥越観音、もみじ交遊舎） ○内容 町内の魅力を再発見してもらうためのツアー 文化財について知る、笹巻きづくり体験	① 8名 ② 16名 （親子7組）	B
3. 一戸町成人式～20歳のつどい～	○期日 8月15日 ○内容 式典のみ開催。	成人者70名 ※対象116名	B
4. テニス教室	○期日 8月31日～毎週水曜日 計5回 ○内容 硬式テニス教室	3名	C
成果と課題 （○：成果、●：課題）			
● 町民セミナーでは、健康や高齢者コミュニティなど、参加者年齢層のニーズ合った内容を企画することができた。また、コロナ禍ではあったが、令和4年3月にグランドオープンしたカダルテラス金田一での現地研修を取り入れ、参加者が飽きない工夫もした。 参加者の固定化が課題。より多くの住民に学習の場を提供できるよう、幅広いテーマを設定などの工夫が必要である。			
○ いちのへ魅力再発見ツアーでは、鳥越地区に焦点を当て、親子で楽しめるような体験メインの内容とした。			

鳥越観音に行ってみたかったという声や、もっといろんなところを案内してほしいという声も聞くことができた。

●テニス教室を3年ぶりに実施することができたが、コロナ感染症の影響で参加人数が少なかったため小中学生にも周知をし親子で参加してもらえるようにしたい。

#### 高齢者教育

事業名	実施状況	参加人数	評価
5. 高齢者教室	○期日 3月1日 一戸地区センター 3月2日 奥中山地区センター ○内容 スマホ・タブレット教室	3/1 10名 3/2 8名	B
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
○ 高齢者教室として開催したが、参加者から好評であったため、次年度は回数を増やすなど参加しやすい講習会としていきたい。			

#### その他

事業名	実施状況	参加人数	評価
6. 旧正月を祝う会	○期日 2月5日 一戸地区センター ○内容 中国文化圏の方々にとって、旧正月を盛大に祝う習慣のあることから、町内在住の外国人の方々と一緒に祝いをし、交流を図る。	【中止】	—
7. 一戸地区新年交 賀会	○期日 1月4日 町コミュニティセンター ○内容 地区民参加のもと親睦交流を図る。	【中止】	—
8. 一戸町文化祭	○期日 11月4日～6日 ○内容 各種作品展示、舞台発表	812名	B
9. 広報活動	○期日 随時 ○内容 町広報紙・ホームページを活用した事業の周知。 地区センターだよりの発行。	—	B
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
○ コロナウイルス感染対策をして、2年ぶりに文化祭を開催できた。			
○ 一戸地区センターだよりを3/27に発行できた。			

#### 第2節 地域における自主的学習の促進と学習団体などの育成

事業名	実施状況	参加人数	評価
10. そよかぜ学級	○期日 年間 ○内容 約10人以上の参加が見込める団体の活動に対して、講師への謝礼金を援助する。	4月～3月まで 10件	C
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
● そよかぜ学級では、各町内会・自治公民館でも集会を控えている状況であることから、利用申請は減っている。今後は、地域活動再開の一助となること等を周知のうえ、利用を呼びかけたい。			

第3章 青少年の健全育成  
第2節 子ども行事の活性化

青少年教育

事業名	実施状況	参加人数	評価
11. 子ども映画会	○期日 4月～2月 計10回 ○内容 いちのへじょうもの里こども園の園児を対象に、映画会を実施。	延べ415名	B
12. 青少年ボランティア活動	○期日 4月～2月 計5回 ○内容 町内中・高生を対象に行事にボランティアとして参加してもらう。 ・7/9 御所野の自然と縄文文化にふれてみよう ・7/31 一戸町ニューススポーツ交流会 ・10/30 缶けり逃走中ごっこ ・11/23 一戸町子ども会ドッジボール大会 ・2/12 上級生研修会	中高生 7/9 3名 7/31 6名 10/30 3名 11/23 2名 2/12 3名	B
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
○ 青少年ボランティア活動では、高校生に町子連行事に参加してもらい一緒に活動することで、青年リーダーの養成を図ることができた。			
● 町子連活動だけではなく、子ども教室等の町主催事業にも参加を呼びかけたい。			

○その他

推進体制

事業名	実施状況	参加人数	評価
13. 自治公民館長会議	○期日 5月 日 【書面開催】	—	—
14. 地区センター定期利用社会教育関係団体代表者会議	○期日 3月下旬 一戸地区センター ○内容 各団体の育成推進、活動方針や事業計画を協議 【書面開催】	—	—
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
● 自治公民館長会議及び定期利用社会教育関係団体代表者会議は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面開催とした。			

【鳥海地区センター】

第1章 生涯学習社会の構築

第1節 多彩で特色ある学習プログラムの整備

成人教育

A：計画以上の成果を上げた B：達成できた  
C：おおむね達成 D：達成できなかった

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. いちのへ町民セミナー 「ワクワク体験」コース	○期日 7月～11月 計4回(現地研修1回) ○内容 ① 7月5日(火) ・「料理教室 カルシウム不足を補う」 ・講師:地域おこし協力隊 小寺 昭二 氏 ② 9月6日(火) ・「ミニ畳づくり」 ・講師:女ヶ澤畳店 女ヶ澤 富士雄 氏 ③ 10月30日(日) ・「トピアリーづくり」 ・講師:軽米町 小林 千鶴子 氏 ④ 11月16日(水) ・「味噌づくり教室」現地研修 ・講師:八幡平市 麴屋 もとみや	① 19名 ② 13名 ③ 15名 ④ 10名 受講申込:25名 参加延数:57名	B
2. 創作活動	① 陶芸教室 9月26日(月)、10月17日(月) ② パッチワーク教室 (毎月1～2回) ③ ミニ門松作り教室 12月21日(水)	① 延べ31名 ② 10回 延べ91名 ③ 13名	B
3. 作品発表展示会	○期日 一戸町文化祭 (11/4～11/6) ○内容 各教室で制作した作品の展示。	41名 109作品	B
成果と課題 (○:成果, ●:課題)			
○コロナ禍ではあったが、一戸町文化祭に各教室で制作した多数の作品を展示することができた。 ○町民セミナーの料理教室やトピアリーづくりには、新規に男性の参加もあったことから、今後も内容の充実に努めたい。			

高齢者教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
4. 各種スポーツ大会	○期日 ① 親善ゲートボール大会 7月21日(木) ② グラウンド・ゴルフ大会 9月7日(水) ③ 郵便局長杯ゲートボール大会 ④ ボッチャ体験会 11月21日(月) ○内容 会員の健康づくりと交流・親睦を図る。	① 23名 ② 36名 ③ 【中止】 ④ 34名	B
5. 親睦旅行	○期日 ○内容 「 」で会員の交流・親睦を図る。	【中止】	—

6. 短歌・俳句	○期日 3月 文集第38集発刊 ○内容 地区民と愛好会員に作品を募集し、1冊の文集として纏める。	3月末 第38集発刊	B
7. 高齢者と児童とのふれあい活動	○期日 9月14日(水)(草取り)今年度も老人クラブのみ ○内容 鳥海小学校の全校児童と高齢者が一緒になって、学校の中庭や校舎周辺の草取りを実施。	老人クラブ20名	B
8. 楽しく学ぼう 西川目長寿大学 校	○期日 11月～2月(計4回) 場所:御所野縄文博物館他 来田保養センター 宮田温泉集会所  ○内容 ① 11月9日(水) ・「いちのへ魅力再発見ツアー」 鳥海地区文化財→昼食→御所野縄文博物館  ② 12月14日(水) ・「楽しく体を動かそう」 ・講師:スポーツウエルネス職員  ③ 1月18日(水) ・「落語を楽しもう」 ・講師:手玖手玖亭 鮎六 氏  ④ 2月8日(水) ・「糖尿病は恐ろしい」 ・講師:町健康子ども課 田中 淳 氏	① 20名  ② 23名  ③ 40名  ④ 32名	B
成果と課題 (○:成果,●:課題)			
○高齢者教育については、コロナ感染症拡大の中ではあったが、感染対策を取りながらほぼ予定通り実施できた。今後も参加者の希望を取り入れながら内容の充実に努めたい。 ●短歌・俳句については、愛好会員の高齢化、減少が続いており文集の発刊が難しくなっている。			

## 第2節 地域における自主的学習の促進と学習団体などの育成

事業名	実施内容	参加人数	評価
9. 移動公民館及びそよかぜ学級	○期日 年間 ○内容 約10人以上の参加が見込める団体の活動に対し、講師謝礼の援助。	33回 延べ362名	B
成果と課題 (○:成果,●:課題)			
○コロナ禍の状況ではあったが、回数33回(昨年35回)、参加人数362人(昨年315人)と回数は2回減ったが参加人数については前年度実績を上回った。			

## 第3章 青少年の健全育成

### 第2節 子ども行事の活性化

青少年教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
10. 習字教室	○期日 毎週月曜日 鳥海地区センター ○内容 子ども達の情操を育て、技術の向上を図る。(小学生9名)	延べ245名	B
11. 環境美化運動	○期日 ① 4月24日(日)・早朝クリーン作戦 ② 年間 ・花だんづくり ○内容 地域の環境美化運動に参加し、子ども会での花壇づくりの推進。	① 200名 ② 小友地区	B
12. 青少年地域活動 (チャレンジ土曜日)	○期日 8月～3月 ○内容 ①7月21日(水) 「ピザ作り教室」 ②1月6日(金) 「サッカー教室」 ③1月11日(水) 「ボッチャ教室」	① 11名 ② 7名 ③ 7名	B
成果と課題 (○:成果, ●:課題)			
●小学生の数が急激に減少しており、団体競技等のスポーツ体験が難しい状況である。今後も子どもたちの希望に合わせたメニューを工夫していきたい。			

その他

推進体制

事業名	実施内容	参加人数	評価
13. 地区センター 運営協力者会議	○期日 ①5月11日(火) ○内容 地区センター運営全般について、活動の計画、反省等について意見交換。	20名	B
14. 三者合同健全 育成会議	○期日 7月12日(火) ○内容 各地区子ども会育成会長、小・中学校長、地区センターの三者が会し、連携と理解を深める。	6名	B
15. 各種団体長会 議	○期日 11月30日(水) ○内容 そよかぜ学級実施団体への事業説明	11名	B
16. 地区センター だよりの発行	○期日 年間 一戸町の広報発刊日にあわせて月1回発刊 ○内容 地区センターの活動計画や実施内容等のお知らせや地域や学校の行事などを地域住民全戸に配布。	360世帯に 通算発行数 396号	B
17. ちらし等の情 報提供	○期日 通年 ○内容 地区センター事業や各種団体での募集やチラシづくりの協力など地区センターだより以外に必要なに応じて作成し地域の方々へ情報提供する。		B
成果と課題 (○:成果, ●:課題)			
○地区センターだよりについては、毎月地域内の情報収集に努め、計12回の発行ができた。			

○その他

事業名	実施内容	参加人数	評価
18. 鳥海地区スポーツ振興会及び各種スポーツ大会への支援(協賛)	○期日 年間 ○内容 ① 地区ペタンク・リーグ戦 7月6日(水)、7月20日(水)、8月3日(水) ② 鳥海地区総合スポーツ大会 ・ビーチボールバレー ・ソフトボール ③ 鳥海地区町民体育大会 9月25日(日)	①延べ53名 ②【中止】 ③ 200名	B
19. 鳥海地区振興会及び各種団体への支援・協力	○期日 年間 ○内容 ①地区振興会活動への支援と協力 ・早朝クリーン作戦、桜の植樹場所等の刈り払い 標語コンクール、鳥海夏祭り、新年交賀会、大志を抱く会、交通安全のぼり旗設置等 ②各種諸団体活動の活性化と支援。		B
20. 鳥海ボランティア高森会への支援・協力	○期日 年間 ○内容 高森高原まつりへの協力、鳥海地区振興会と協力しての刈り払い、研修旅行、介護予防教室の送迎等		B
21. 高森高原まつり実行委員会への支援・協力	○期日 6月5日(日) ○内容 高森高原まつり実行委員会への支援・協力	【中止】	—
22. 介護予防拠点施設「翔遊館」への支援・協力	○期日 年間 ○内容 翔遊館の利用促進と介護予防拠点施設運営協議会への協力。介護予防教室開催時の送迎等		B
23. 鳥海地区新年交賀会	○期日 1月3日(火) ○内容 地域住民が一堂に会し、新年を祝い相互の親睦を図る。	【中止】	—
24. 大志を抱く会	○期日 2月4日(土) ○内容 一戸中学校の鳥海地区出身の2年生を対象に、将来の夢や希望を宣誓していただく立志式を開催する。また、茶話会を通じて地域とのつながりを図る。(今年度対象生徒:2名)年度途中で1名減	17名	B
25. いちのへ魅力再発見ツアー	○期日 11月9日(水) ○内容 御所野縄文遺跡の世界遺産登録1周年を記念して、一戸町内の文化財などを再発見するバスツアーを企画する。	20名	B
成果と課題 (○:成果, ●:課題)			
○ 今年はじめて、コロナ感染対策をしながら鳥海小学校運動会と鳥海地区町民運動会を合同で実施した。子どもから老人まで参加する賑やかな運動会となり、参加住民から大変好評であった。			
● コロナ感染症拡大により今年も高森高原まつりが中止となった。今後、コロナ禍でのまつりの在り方を模索しながら、関係団体等と協議し来年度に向けた。			

## 【小鳥谷地区センター】

### 第1章 生涯学習社会の構築

#### 第1節 多彩で特色ある学習プログラムの整備

A：計画以上の成果を上げた B：達成できた  
C：おおむね達成 D：達成できなかった

#### 成人教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. いちのへ町民セミナー	○期日・内容 元気な地域・人づくりコース（小鳥谷地区センター） ①9月30日（金） 演題：「森林とSDGs」 講師：岩手北部森林管理署 森林技術指導官 小倉俊一 氏 小鳥谷森林事務所 森林官 小林幸太郎 氏 施設見学「一戸森林資源バイオマス発電所」 ②10月20日（木） ・現地研修：洋野町（おおのキャンパス） ・「陶芸製作体験教室」 ③11月1日（火） 演題：「学校の今とむかし」 講師：小鳥谷小学校 校長 松尾 葉子 氏 ④12月9日（金） 演題：「健康づくりについて」 講師：一戸町役場健康子ども課 保健師	受講生 36名 ①17名 ②16名 ③20名 ④15名 コース延べ参加人数68名	B
2. ヨガ教室	○期日 1月～3月 計9回 1/18から毎週水曜日 ○場所 小鳥谷地区センター ○内容 ヨガ教室	9回 延べ 65名	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○ いちのへ町民セミナー「元気な地域・人づくりコース」は、小鳥谷地区内にある学校や機関の方に講演を依頼して開催することで、親近感や興味を持って参加する受講生が多かった。 また、セミナーの会場には運動場を使用し、感染対策に注意しながら実施をした。			

#### 高齢者教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
3. 小鳥谷はつらつあっぷ教室（共催）	○期日 4月～3月（毎月第2・4木曜日、12～3月は毎週木曜日） ○内容 介護予防を目的とした教室 （主催：一戸町地域包括支援センター）	23回 延べ 211名	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○ 小鳥谷はつらつ！あっぷ教室は参加者の健康増進及び介護予防に繋がっている。			

## 第2節 地域における自主的学習の促進と学習団体などの育成

事業名	実施内容	参加人数	評価
4. そよかぜ学級	○高屋敷町内会 期日 ①11/2、②12/29、③2/5 場所 高屋敷集会所 内容 そば打ち教室、うどん打ち教室 ○姉帯第1行政区ボランティアの会 期日 ①2/17 場所 侍村公民館 内容 認知症教室	①11名 ②10名 ③12名 ④10名	D
5. 自主講座	○期日・内容 ①華道教室 毎月第2・4木曜日 ②大正琴教室（琴修会） 毎月第2・4月曜日 ③小鳥谷さわやかクラブ（健康づくり） 毎月第2・4水曜日 ④駒木婦人の会（健康づくり） 毎週土曜日 ⑤こずや太極拳同好会 毎週月曜日	①延べ 25名 ②延べ 80名 ③延べ 114名 ④延べ 249名 ⑤延べ 382名	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<p>○ そよかぜ学級は、地区民が自主的に企画し参加者相互の交流が図られている。</p> <p>○ 自主講座は自主的学習として活動しており、年間を通して活発に実施されている。</p> <p>● そよかぜ学級については、コロナウイルスの影響もあり近年開催数が少なくなっているが、周知等を行い開催数の増加に取り組むたい。</p>			

## 第3章 青少年の健全育成

### 第2節 子ども行事の活性化

#### 青少年教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
6. 幼児映画教室	○期日 5～2月（月1回） ○場所 小鳥谷保育所 ○内容 小鳥谷保育所の児童に映画鑑賞の機会を提供	延べ児童数 96名	B
7. 青少年地域活動事業	①期日 11月21日（月） 場所 葛巻町「森のこだま館」 内容 山ぶどう染め体験 ②期日 12月26日（月） 場所 二戸市「県北青少年の家」 内容 カーリング体験	①児童 15名 ②児童 15名	A
8. 親子料理教室	○期日 2月4日（土） ○場所 小鳥谷地区センター ○内容 親子お菓子づくり教室	②児童 6名	B
9. 運動場の無料開放	○期間 毎週土曜日と夏休み等長期の休み ○効果 児童生徒の居場所を提供する。	延べ 150名	B

10. 書道教室	○期日 毎週金曜日 ○場所 小鳥谷地区センター	延べ受講者数 501名	B
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
○ 幼児映画教室を通じて、幼児期の情操教育を図ることができた。 ○ 青少年地域活動事業の山ぶどう染め体験では、学童・子ども教室と協力して、小鳥谷小学校に通う子どもたちの相互交流および体験する機会の少ない染めものについて学ぶことができた。 ○ 書道教室は毎週実施しており、16名の受講者が技術の向上に努めている。			

○その他

事業名	実施内容	参加人数	評価
11. 小鳥谷地区センター運営協力者会議	○期日 7月5日 ○場所 小鳥谷地区センター ○内容 センター事業及び管理・運営全般について	11名	B
12. 地域団体、定期利用団との打ち合わせ	○期日 随時 ○内容 地域の各種団体、定期利用団体と打ち合わせ、事業の円滑化を図る。		B
13. 地区センター事業のお知らせ	○期日 通年 ○内容 公民館事業の予定、募集等を回覧・広報で地域の方々へ周知。		C
14. 小鳥谷地域振興会事業への協力	①総会 期日 5月15日 場所 小鳥谷地区センター ②クリーンアップ作戦 期日 4月10日 ③藤島のフジまつり 期日 5月29日 【中止】 ④小鳥谷まつり 期日 9月17～18日 ⑤藤島のフジ等選定・園内清掃など 期日 5月15日・6月5日・7月3日・11月20日 ⑥地区内公道等の除雪作業 地域振興会会員による通学路の除雪(随時)		B
15. 小鳥谷地区スポーツ振興会事業への協力	①役員会 期日 4月27日(水) 場所 小鳥谷地区センター ②総会 期日 5月18日(水) 場所 小鳥谷地区センター ③小鳥谷地区ソフトボール交流大会 期日 6月26日(日) 【中止】 場所 旧小鳥谷中学校グラウンド ④第66回小鳥谷地区町民体育大会 期日 10月9日(日) 【中止】 場所 旧小鳥谷中学校グラウンド ⑤ビーチバレーボール大会 期日 2月26日(日) 【中止】 場所 小鳥谷地区センター		B

16. 各種団体への協力	○期日 随時 ○内容 子ども教室・用水組合等への協力。		B
17. 小鳥谷地区文化祭	○期日 11月12(土)13日(日) ○場所 小鳥谷地区センター ○内容 作品展示・舞台発表等	259名	B
18. 小鳥地区新年交賀会	○期日 1月8日(日) ○場所 小鳥谷地区センター	【中止】	—
19. 小鳥谷地域づくりワークショップ(第1期)	①お休み処ニコニコ駅こすや 期日 8月20日～11月26日 毎週土曜日9時～13時 場所 IGR小鳥谷駅舎内 内容 お休み処の運営 (お茶・コーヒーの無料提供、地元野菜・お菓子の無人販売コーナー設置、地域おこし協力隊キッチンカー) ②小鳥谷の谷の雪あかり 期日 1月21日(土)22日(日) 場所 小鳥谷地域 内容 雪あかり設置 メイン会場：小鳥谷駅前、小鳥谷診療所		A
20. 小鳥谷地域づくりワークショップ(第2期)	○期日 未実施 ○対象 小鳥谷地域内の住民 ○内容 地域の様々な課題解決と将来像について語り合うワークショップ		D
21. 一戸町魅力再発見ツアー	○期日 11月22日(火) ○場所 姉帯上里のカヤ、上里宝篋印塔、旧小鳥谷中学校(古民具等)、野尻の大イチイ、旧朴館家住宅 ○内容 管内の文化財・天然記念物を巡り、魅力を再発見するバスツアーを企画	14名	B

成果と課題 (○：成果、●：課題)

- 小鳥谷地域振興会及び小鳥谷スポーツ振興会事業への協力については、お互いに事業へ積極的に協力し合い連携を図っている。
- 小鳥谷地区文化祭は一部開催内容を変更(豚汁無料配布の中止)したが、作品展示や舞台発表を3年ぶりに開催し地区住民の文化芸術活動の発表の場・鑑賞の場として交流が図られた。
- 小鳥谷地域づくりワークショップについては、当初第2期を募集し進める予定としていたが、第1期生で話し合われた居場所づくりに活用が可能な場所のテナント募集の話があったことからこちらを優先し、事業実施に向けた意見交換会の開催や補助事業の活用に向けた支援、IGRとの連絡調整等を行い、「お休み処」の運営実施に協力し8月から11月まで試行期間として実施された。  
また、小鳥の谷の雪あかりについても、第1期生メンバーを中心に補助事業を活用して準備し、開催日数を昨年度の1日開催から2日間に拡大して開催し、多くの地区民の協力を得て開催され、地区民の交流につながった。
- 一戸町魅力再発見ツアーは、普段見て歩く機会の少ない管内にある文化財や天然記念物の説明を聞きながら巡るツアーを企画実施し、地域の魅力とその価値について学ぶことができた。

## 【奥中山地区センター】

### 第1章 生涯学習社会の構築

#### 第1節 多彩で特色ある学習プログラムの整備

##### 成人教育

A：計画以上の成果を上げた B：達成できた  
C：おおむね達成 D：達成できなかった

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. いちのへ町民セミナー 「いきいきコース」	○期日 7月～11月 計5回 ○内容 ①7月11日 (奥中山地区センター) ・「免疫力アップの健康づくり」 ・講師：岩手県予防医学協会 職員 ②8月29日 (現地研修) ・「葛巻町新エネルギー施設見学」 ・講師：葛巻町役場 職員 ③9月21日 (奥中山地区センター) ・「今から！ここから！～これからも生き生き人生～」 ・講師：フリーランスアナウンサー 後藤のりこ氏 ④10月27日 (奥中山地区センター) ・「健康と食～免疫力を下げないために～」 ・講師：日本野菜ソムリエ協会 小原薫氏 ⑤11月21日 (奥中山地区センター) ・「ニュースポーツで健康づくり」 ・講師：ふれあいランド岩手 職員	16人 17人 77人 21人 15人 受講申込者：33人 受講延人数：146人	A
2. いちのへ魅力再発見町民ツアー	○期日 11月7日 ○内容 御堂～小繋間の奥州街道沿いの文化財を巡るツアーを実施した。	17人	B
成果と課題 (○：成果、●：課題)			
<p>○ 町民セミナーは、受講者に興味を持ってもらえるテーマの選定に努めている。本年度も感染対策に十分注意しながら、全5回を予定どおり開催することができた。受講申込者数、受講延べ人数とも前年度を上回った。</p> <p>● 受講者の固定化、減少傾向が見られるため、開催時期や内容、周知方法等を工夫して実施したい。</p> <p>● 町民セミナー修了式は、冬道の運転への不安から参加をちゅうちょされる方がいることから、日程の設定に配慮が必要と思われる。</p> <p>○ 昨年度に引き続き、町内の史跡・文化財を見学するツアーを実施し、地域の宝を再認識していただいた。</p>			

##### 高齢者教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
3. 親善ゲートボールリーグ戦	○期日 5月～9月 (開拓記念公苑、地区センター) ○内容 全8回のリーグ戦を行い、参加者の技術向上と親睦・交流を図る。 ※新型コロナ流行のため第5回以降を中止とした。	6チーム	C

4. ピュアクアガーデン杯ゲートボール大会	○期日 11月1日 (ピュアクアガーデン) ○内容 地元チームによる親善大会を開催し、競技を通じて相互の技術向上と親睦・交流を図った。	4チーム	B
5. 奥中山郵便局長杯ゲートボール大会	○期日 未定 (奥中山地区センター) ○内容 郵便局と共催して開催。競技を通して参加者相互の親睦、交流を図る。 ※ 新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。	【中止】	—
6. オパール大学校	○期日 11月～3月 ○内容 JA年金友の会と共催し、講話や軽体操など各回テーマを決めて開催。 ※ 新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。	【中止】	—
7. お達者サークル	○期日 毎週水曜日 9時～13時 (お達者かあ～ん) ○内容 高齢者及び施設利用者を対象に、軽運動、ニュースポーツなどを実施。	47回 延べ880人	B
8. はつらつ! あっぷ教室	○期日 4月～11月 毎月第4水曜日 12月～3月 毎週水曜日 13時30分～15時 (奥中山地区センター) ○内容 健康運動、ストレッチ、脳トレ運動、健康教室など町地域包括支援センターが主催し地区センターなどが後援して実施。	21回 延べ91人	C
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ゲートボール大会は、奥中山地区のほか近隣市町村のチームが参加し、相互の技術向上と親睦・交流を図った。</li> <li>● オパール大学校は、共催団体の方針もあり、本年度も中止となった。</li> <li>○ お達者サークルは、自宅にこもりがちになりやすい高齢者の外出のきっかけや体力維持、生きがいの一助になっている。</li> <li>● はつらつあっぷ! 教室は、より多くの方に参加していただけるよう主催者と方策を検討したい。</li> </ul>			

## 第2節 地域における自主的学習の促進と学習団体などの育成

事業名	実施内容	参加人数	評価
9. 定期教室	○期日 通年 ○内容 ①袋物教室 (月1回) ②ちぎり絵教室 (月1～2回) ③大正琴 (月2回)	① 6回 延べ 51人 ② 10回 延べ 77人 ③ 13回 延べ 26人	B
10. そよかぜ学級	○期日 通年 ○内容 概ね10人以上の参加が見込める教室や講座などを開催する場合、町が講師への謝礼金を支給する。	14回 延べ 120人	B
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定期教室は、また、開催会員の高齢化などにより今後の活動の低下も懸念される。</li> <li>○ そよかぜ学級は、地区民が自主的に教室を企画し、技術の向上や伝承、参加者相互の交流が図られている。</li> <li>● 新型コロナウイルスの影響で定期教室、そよかぜ学級とも、回数や参加者数が減少している。</li> </ul>			

### 第3章 青少年の健全育成

#### 第2節 子ども行事の活性化

##### 青少年教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
11. 幼児映画教室	○期日 4月～2月 毎月各1回 ○内容 幼児を対象に、映画会を実施している。 ・奥中山みどりの森こども園、摺糠児童館	延べ17回 244人	B
12. 青少年地域活動	○小学生の各種体験支援 期日 8月5日 奥中山地区センター 内容 ニュースポーツ体験・なぎなた体験	小学生28人	B
13. ドッジボール交流大会	○期日 11月23日 町民文化センター ○内容 奥中山地区から4チームが参加。	低学年2チーム 低学年2チーム	B
14. 地区子連雪あそび	○期日 1月11日 お達者かぁ～ん ○内容 夢あかり事業に参加し、雪灯ろうづくりを行った。	25人	B
成果と課題 (○：成果、●：課題)			
<p>○ 青少年地域活動では、夏休み期間を利用し小学生のいろいろな体験のためのサポートを行った。なぎなた体験では、奥中山なぎなた教室や奥中なぎなた部が協力し、交流も図られた。</p> <p>○ 地区子連雪遊びは、子供たちが老人クラブの会員と一緒に夢あかりで灯す雪灯ろうづくりを行った。地域のイベントへの参加を通して世代間の交流や郷土愛の醸成が図られた。</p>			

##### その他

事業名	実施内容	参加人数	評価
15. ロビー展示会	①期日 4月～3月のうち随時 内容 ちぎり絵教室の作品展示 ②期日 4月25日～5月16日 ほかに全7回予定 内容 中山の園つつじ 作品展 ③期日 12月6日～12月22日 内容 三愛学舎 手芸展 ④期日 1月24日～2月12日 内容 三愛学舎 卒業展	集計なし	B
16. 柴田外男作品展	○期日 10月8～16日 (奥中山地区センター) ○内容 奥中山地区文化祭にあわせて柴田外男氏の作品展を開催した。柴田氏のポスター作品20数点を展示。10月9日には、柴田氏を講師に切り絵教室を開催した。	集計なし	A
17. 健康づくりの日	○期日 5月～9月の毎週木曜日 (奥中山小学校校庭) ○内容 毎週早朝にラジオ体操を行うことで、地域住民の健康づくりの一助となった。	20回 延べ250人	B

18. 奥中山地区文化祭	○期日 10月8～9日 (奥中山地区センター) ○内容 地区民の芸術文化活動の成果を発表、展示し、広く地区民に鑑賞の機会を提供した。	集計なし	C
19. 新年交賀会	○期日 1月7日 (奥中山地区センター) ○内容 地域住民が一堂に会し、新年を祝いながら親睦と交流を深める。 ※ 新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。	【中止】	—
20. 夢あかり事業	○期日 1月13～15日 (奥中山高原駅周辺ほか) ○内容 駅前通りを会場に、雪と灯りをテーマにイベントを開催。住民総参加で一つの目標に取り組み、地域の活性化を図った。	集計なし	C
成果と課題 (○：成果、●：課題)			
<p>○ ロビー展は、地域の福祉施設の作品展示など、回数、期間とも増加している。</p> <p>○ 奥中山地区文化祭は、新型コロナウイルス感染防止のため舞台部門は中止としたものの、展示部門を中心に3年ぶりに開催した。展示部門には、地区の住民を始め教育・保育期間、福祉施設などからも多くの作品を出展していただいた。</p> <p>○ 夢あかり事業は、例年行っている馬そり運行を取りやめるなど規模を縮小して開催したが、駅前や通りなどへの雪あかり点灯や花火、神楽の披露などを行い、参加者に奥中山の冬を楽しんでいただくことができた。</p>			

○その他

推進体制

事業名	実施内容	参加人数	評価
21. 地区センター運営協力者会議	○期日 年度当初 奥中山地区センター ○内容 地域内の各関係団体の代表者に集まっていただき、公民館活動などについて協議する。 ※ 新型コロナウイルス感染防止のため開催しなかった。	—	—
22. 地域団体、公民館利用団体等代表会議	○期日 不定期 ○内容 地域の各種団体や地区センター利用団体の代表者会議を開催し、公民館活動の推進等について連絡調整し、事業の円滑化を図る。	—	—
成果と課題 (○：成果、●：課題)			
<p>○ 新型コロナウイルスの影響により年度当初の運営協力者会議は開催しなかったが、日頃から各関係団体との連絡を密にし、活動状況の把握や協力体制の構築に努めている。</p>			

芸術文化・コミュニティセンター関係事業実施状況

第6章 歴史文化の継承と創造

第5節 文化・芸術活動団体の育成及び指導者の自主事業

A：計画以上の成果を上げた B：達成できた  
C：おおむね達成 D：達成できなかった

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. 各種展示会	1 ひめぼたる五行歌会作品展 4/9～4/30	-	B
	2 星と宇宙のロビー展「天穹の一瞬 2022」 6/12～6/26		
	3 柴田外男作品展 7/2～7/31		
	4 みらいの光展 2022 8/11～8/16		
	5 田村己代治写真展「おらほの四季」 9/14～10/2		
	6 杉沢空良 切り絵で描く自然の世界 10/26～11/13		
	7 北海道・岩手の姉妹コラボ写真展 11/16～12/4		
	8 新年かきぞめ大会金賞作品展 1/7～1/22		
	9 一戸高校美術部・書道部合同展 1/25～2/12		
	10 一戸町文化協会写真部会作品展 3/8～3/26		
成果と課題 (○：成果、●：課題)			
●各種団体等と連携を図りながら、利用者の増加に結びつけられるような展示を継続実施する。			

第6節 文化・芸術施設の利用促進及び鑑賞・発表機会の拡充

自主事業

事業名	実施内容	参加人数	評価
2. 利用促進事業	①不來方高校音楽部コンサート ○期日 令和4年6月25日(土) ○内容 岩手県立不來方高等学校音楽部によるコンサート。	①290名	B
	②三井住友海上文化財団ときめくひととき第941回「ホルンと歌の夕べ」 ○期日 令和4年7月24日(日) ○内容 福川伸陽(ホルン)、小林沙羅(ソプラノ)、河野紘子(ピアノ)によるコンサート。	②172名	
	③公共ホール音楽活性化支援事業「クワチュール・ベーコンサート」 ○期日 アウトリーチ 10月13日～10月14日 町内小学校 コンサート 10月15日(土) ○内容 町内小学校でサクソフォン演奏アウトリーチ実施後、最終日にホールでコンサートを開催。	③ 161名 (ホールコンサート)	
	④わわわのステージ ○期日 令和4年6月26日、9月18日 ○内容 町民参加型のステージ発表。民謡、舞踊、健康体操、童謡唱歌、カラオケ等	④延べ207名	
	⑤絵画教室 ○期日 毎月第2・4日曜日 ○内容 一戸町文化協会美術部部員を中心とし、絵画に親しむ会を開催。	⑤延べ102名	
	⑥カラオケ倶楽部 ○期日 毎月第2水曜日、第4水曜日 ○内容 カラオケに親しむ会を自由参加で開催。	⑥延べ254名	
	⑦童謡・唱歌を楽しむ会 ○期日 7月～3月に7回開催(4月～6月3回中止) ○内容 童謡・唱歌を通じて音楽に親しむ会を開催し、参加者同士の交流を図る。毎回参加者の希望をとりながら、ピアノ伴奏に合わせて約2時間童謡、唱歌を楽しんでいる。	⑦延べ190名	
	⑧縄文の里音楽会 ○期日 11月3日(水) ○内容 一戸中学校吹奏楽部、一戸高校吹奏楽部によるライブ。	⑧170名	

	<p>⑨岩手芸術祭</p> <p>1. 巡回美術展 ○期日 11月19日(土)～11月20日(日) ○内容 岩手芸術祭美術展の入賞作品の巡回展示</p> <p>2. 移動舞台公演 ○期日 12月3日(土) ○内容 岩手県新舞踊協会より幸の会、裕康会を招き新舞踊公演を開催。</p> <p>⑩北海道歌旅座 「ザ★コンサート」 ○期日 12月10日(土) ○内容 北海道歌旅座による昭和歌謡とオリジナル曲のコンサート。</p> <p>⑪わわわシネマ 「SING ネクストステージ」上映会 ○期日 2月25日(土) ○内容 ホールで映画の内容に合わせた演出で開催するワンコイン上映会</p> <p>⑫アートボード企画 ロビーの一部壁面を利用し、地域参加を施行した、季節感や年中行事等を演出する企画を実施。 ・3・4月 さくらの木(3/8～5/1) ・5月 うろこアート(5/3～5/29) ・7・8月 20周年バージョン(7/16～8/21) ・10月 ジャック・オ・コミセンからの挑戦状(10/21～10/30) ・12月 クリスマスメッセージツリー(12/13～12/25) ・1月年賀状&amp;四字おみくじ(1/4～1/15)</p>	<p>⑨</p> <p>1. 164名</p> <p>2. 58名</p> <p>⑩ 104名</p> <p>⑪ 60名</p> <p>⑫ 来館者</p>	
--	--	---	--

<p>成果と課題 (○:成果、●:課題)</p>
<p>○コロナ禍において集客が難しいタイミングもあったが、ニーズのあるものは一定レベルでの集客となった。</p> <p>○開館20周年という機会を生かし、三井住友海上文化財団の助成事業を実施した。今までと違う客層へのアプローチにつながった。</p> <p>○公共ホール音楽活性化支援事業では、奥中山中学校でも訪問コンサートを実施することができた。今回で町内の小中学校すべてを回る事ができた。</p> <p>○アートボード企画ではメッセージポストや館内クイズラリーなど、主に参加型の展示企画を開催。子供たちを中心に好評であった。</p> <p>○第2回わわわのステージでは二戸市民文士劇PR隊を呼びパフォーマンスをして頂いた。いつもより新鮮であったと好評であり、これからも一戸町や周辺地域で活躍する団体を呼んでいきたい。</p> <p>○映画上映会ではファミリーを対象に家族で楽しんでもらえる会場づくりをした。コミュニティセン</p>

ターならではの映画会を楽しんでもらうことができた。

○ロビー展示会では今年度導入した大型モニターを活用し、都合により搬入できなかった作品をデジタル展示した。スライドにはBGMをつけることで展示会への誘導を図ることができた。

- イベント開催日が重なってしまった場合に当館での集客が落ちている。
- イベントの周知期間、周知方法を見直し、イベントのPRを徹底していく。
- 移動舞台公演では集客が見込める層への周知の遅れから前売券の出足が鈍かった。

○その他

推進体制

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. 令和4年度三井住友海上文化財団ときめくひととき公演「仲道育代ピアノ・リサイタル」視察	○期日 令和4年5月8日(日) ○内容 花巻市文化会館 三井住友海上文化財団助成公演開催に向け、同じ助成を受けている花巻市文化会館のコンサートの運営状況を視察する。	1名	B
2. 令和4年度音楽活性化支援事業 誰もが楽しめるサクソフォン四重奏コンサート 視察	○期日 令和4年7月3日(日) ○内容 久慈市アンバーホール小ホール 公共ホール音楽活性化事業の他館での運営状況、クワチュール・ペーのコンサートプログラムを視察。	3名	B
3. 令和4年度地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会(東北地域)「地域特性を生かした事業を学ぶ～奥州市における市民劇のこれから～」	○期日 令和4年11月16日(水)～17日(木) ○内容 奥州市文化会館(Zホール)中ホール/展示室 高齢者を積極的に採用するゴールドシアターや、奥州4館それぞれの事業の様相を学びながら、地域の特性を生かした事業について考えた。	1名	B
4. インボイス制度準備と対策について(セミナー)	○期日 令和4年12月2日(金) ○内容 一戸地区センター 大会議室 インボイス制度の準備と、課税事業者である当法人の今後の対応、課題について学ぶ。	1名	B
5. 組織マネジメント力強化支援研修	○期日 令和5年2月1日(水)2月15日(水) ○内容 いわて県民情報交流センター アイーナ 事業計画、事業評価方法について実践プログラムを用いながら学んだ。	1名	B

6. 令和4年度 県北広域振興券 文化芸術活動支援ネットワーク会議	○期日 令和5年3月2日(木) ○内容 県北地区の芸術文化事業について関係団体との情報交換を行った。	2名	B
7. 岩手県内公立文化施設協議会 技術職研修会	○期日 令和5年3月9日(木) ○内容 北上市文化交流センター さくらホール 舞台の安全運用について、事例報告を基に日頃からの具体的な安全対策を学んだ。	1名	B
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
<p>○地域テーマの現地研修では単に研修を受けるだけでなく、その地域の特色や事情、人の動きなど様々な見聞を広めることでより深い学びを得ることが出来た。</p> <p>●組織マネジメント力強化事業では、事業立案の際に着目すべき地域の現状、課題についてより調査を徹底していかなければならない事を学んだ。アンケート調査に加え、利用者とのコミュニケーションを密にとりながら、地域の現状に寄り添った事業を企画していきたい。</p> <p>○技術職員研修会では、ヒヤリハット事例などからどういったところに危険が潜んでいるのか、ヒューマンエラーを排除するためにどのように取り組んでいるのかをきくことができた。</p> <p>●安全教育については現状OJTのみとなっているため、危険に対する意識や行動にばらつきがある。声掛け、確認作業等の基本からの徹底が必要である。</p>			

## 一戸町立図書館事業実施状況

### 第1章 生涯学習社会の構築

A：計画以上の成果を上げた B：達成できた  
C：おおむね達成 D：達成できなかった

#### 第3節 図書館の充実資料整備関係

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. 資料等の収集・保存	<p>①図書資料の収集・保存 ○内容 地域課題解決、また教養の向上、レクリエーション等のため、図書資料の収集と保存を図っている。</p> <p>②逐次刊行物の収集・保存 ○内容 時事的な情報収集のため、新聞・雑誌・フリーペーパー等の収集と保存を図っている。</p> <p>③郷土資料・行政資料の収集・保存 ○内容 町立図書館としての任務に欠くことのできない、町の情報収集機関として、積極的に郷土・行政資料及び地図の収集と保存を図っている。</p> <p>④視聴覚資料の収集・保存 ○内容 情報基地としての図書館として、地域関連資料、教養の向上、およびレクリエーション等のため、視聴覚資料の収集を図っている。</p>	-	B
2. 資料提供サービス	<p>①貸出・閲覧等の資料提供 情報提供機関として、利用者の求める資料の提供により、利用者の課題の解決や教養の向上、レクリエーション活動への支援を図った。</p> <p>②予約・リクエストサービス 利用者が要求する情報を確実に提供するため、予約・リクエストを受け、新規購入・相互貸借等により利用者に資料を提供した。</p> <p>③ 図書館間資料相互貸借サービス 図書館ネットワークを通じ、当館に所蔵しない資料について、他館より借受けて利用者に提供するほか、当館から他館への貸出も行った。</p> <p>④レファレンスサービス 利用者から各種問合せに応じ、資料の提供を通じて問題解決への協力を行った。</p> <p>⑤障がい者サービス 町民を対象に、読書活動及び図書館の利用に困難がある方への支援（個人宅配など）を行った。また大活字本等の収集・提供を行った。</p> <p>⑥出前貸出サービス「そよかぜ号ミニ」 町内 16 サービスポイントを毎月 2 日間巡回し、介護や保育施設などに本の配送を行った。</p> <p>⑦団体貸出 町内の団体利用者に（学校、施設等）に図書を貸出した。</p>	<p style="text-align: center;">-</p> <p style="text-align: center;">-</p> <p style="text-align: center;">-</p> <p style="text-align: center;">-</p> <p style="text-align: center;">宅配利用 1名</p> <p style="text-align: center;">4月～3月 月2日巡回</p> <p style="text-align: center;">随時</p>	B

3. リサイクル市 (町立図書館除籍資料等リサイクル事業)	今年度実施なし	-	-
4. 蔵書点検	○期日 6月27日～7月1日 ○内容 資料の適正管理のため蔵書の一斉点検を行った。	-	B
5. 町内図書館蔵書情報共有化事業	○内容 町立図書館、地区センター図書室、御所野縄文博物館及び小中学校図書館の蔵書情報の共有化し、図書資料の有効活用を図っている。	-	B
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
<p>○蔵書点検の実施により、適正な資料管理を図ることが出来た。</p> <p>○医療、介護・福祉、教育・子育て支援等の最新資料を適宜収集することで、利用へのニーズに応えた。</p> <p>●郷土資料の整理・登録を進め、資料管理を適正に行いたい。</p> <p>●資料更新を進め、除籍資料のリサイクル事業を次年度以降実施したい。</p>			

#### 利用促進関係

事業名	実施内容	参加人数	評価
6. 連携事業	<p>①地区センターとの連携 地区センター図書室との連携を図り、資料の入れ替えや図書室の環境整備、文化祭での資料展示等を行った。</p> <p>②読書グループとの連携 町内の読書グループと連携を図り、資料や小道具の貸与、各種研修会・補助金等の情報提供を行った。</p> <p>③学校図書館との連携 学校図書館運営についての相談を受け、児童・生徒の読書活動・学習活動への支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館環境整備 各校に毎月1回出向き掲示物、展示、システム指導、図書ボランティア講習等を行った。</li> <li>・職場体験・施設見学・調べ学習受入</li> </ul>	-	B
7. 出前図書館	町内外の教育施設等に出向き各種事業を行った。 ①読み聞かせ 1件 ②ブックトーク 6件	-	B
8. パソコンコーナー開放サービス、Free Wi-Fi	○内容 情報収集ツールとしてのインターネットや、職業訓練等での練習としてパソコンの開放している。また一戸町 Free Wi-Fi の設置により、利用の便を図った。	-	B
9. 図書館広報	○内容 各種媒体を通じた広報活動で利用促進を図った。 ①一戸町広報誌「いちのへ」 ②図書館広報紙「ぶっくんレター」 ③新聞各社、カシオペア連邦イベント情報への情報提供 ④ホームページ、SNS ⑤コミュニティセンターロビーディスプレイ ⑥ラジオ出演 (カシオペア FM)	-	B

<p>10. ブックスタート事業</p>	<p>①ブックスタート ○期日 毎月第1水曜日 総合保健福祉センター ○内容 幼児期から親子で読書に親しむ環境づくりの形成を目的に、4カ月健診時に職員が出向き、絵本2冊を贈り、その場で読み聞かせを行う。感染対策のため4カ月健診が病院受診に変更となり、R4年度も来館受渡（もしくは郵送）を実施。</p> <p>②ブックスタートプラス ○期日 隔月第1水曜日 総合保健福祉センター ○内容 ブックスタートのフォロー事業として、親子で読書に親しむ環境づくりの形成を目的に、3歳児健診時に図書館職員が出向き、絵本1冊を贈った。また、ブックスタート事業のアンケートをとり、事業効果を検討した。</p>	<p>① 33組</p> <p>② 46組</p>	<p>B</p>
<p>11. 第44回一戸町読書に関する作文コンクール</p>	<p>○期日 募集 8月1日～9月16日 表彰式 令和4年12月7日 ○内容 読書を通じての体験作文及び感想文を広く募集し、入賞作品文集『そよかぜ』を発行。読書活動の推進を図った。</p>	<p>応募点数 54点 入選点数 28点</p>	<p>B</p>
<p>12. りぶしるPOPコンテスト【地域コンテスト】</p>	<p>○期日 募集 7月15日～9月15日 ○内容 POP作品を募集し読書活動の推進を図った。入選者は全国コンテストへ推薦する。</p>	<p>応募点数 28点 入選点数 22点</p>	<p>B</p>
<p>13. 地域おこし事業</p>	<p>①まいまいつむりの手芸教室 ○期日 4月29日 一戸町コミュニティセンター ○内容 刺繍作家・まいまいつむり氏を講師に手芸教室（ニヤンドゥティ）を開催した。</p> <p>②お仕事体験～小野寺先生のドクターラボ～ ○期日 5月15日 一戸町コミュニティセンター ○内容 小野寺内科医院の院長と小鳥谷診療所院長を講師に医師のお仕事体験を開催した。</p> <p>③戦争と暮らし回顧展 ○期日 8月1日～31日 図書館内 ○内容 戦争体験記のパネルを展示した。 8月11日実施の一戸ユネスコ協会主催「平和の鐘を鳴らそう」に共催し、一戸町の戦争体験記を収集、提供することができた。</p> <p>④ミズキ団子づくり ○期日 1月9日 一戸町コミュニティセンター ○内容 一戸の伝統行事を知るため、ミズキ団子づくりを体験する。</p> <p>⑤長山工芸の木工教室 ～南部細目組紋様細工コースターをつくろう～ ○期日 2月11日 一戸町コミュニティセンター ○内容 長山工芸代表を講師に工芸品の魅力を学ぶ。</p>	<p>① 10名 (付添含12名)</p> <p>② 30名 (付添含23名、スタッフ19名)</p> <p>③ - 8/11 26名</p> <p>④ 22名</p> <p>⑤ 21名 (付添含25名)</p>	<p>B</p>

14. サイエンス講座	<p>①第16回親子 de サイエンス図書館 ～自分だけのプラネタリウムを作ろう～ 一戸町コミュニティセンター</p> <p>○期日 8月2日 ○内容 観光天文台台長を講師に星座の講話を聞き、プラネタリウムを作成した。</p> <p>②第17回親子 de サイエンス図書館 ～科学の実験・工作と理科読～</p> <p>○期日 12月24日 ○内容 空気砲を使った科学工作作りを行った。</p> <p>③わくわくサイエンス図書館</p> <p>○期日 3月25日 ○内容 ふうせんロケットの科学工作を行った。</p>	<p>① 13名 (付添含 19名)</p> <p>② 14名 (付添含 22名)</p> <p>③ 13名 (付添含 20名)</p>	B
15. 第4回子ども司書講座	<p>○期日 8月4日 一戸町コミュニティセンター</p> <p>○内容 小学3～6年生を対象に、読書活動のリーダーとして活躍できる児童の育成を図った。</p>	7名	B
16. 夏休み自由研究応援隊!	<p>○期日 7/20～8/21 随時受付 図書館内</p> <p>○内容 夏休み期間中に、自由研究の支援(調べ方、まとめ方等)を行った。また「図書館で調べる学習コンクール」入賞作品の複製展示を行った。</p>	-	B
17. 映画会	<p>①としょかん映画会 一戸町コミュニティセンター</p> <p>○期日 毎月第2土曜日</p> <p>○内容 映画を通じて豊かな情緒・感性を育むことを目的に、幼児から小学生向けの映画会を行った。</p> <p>②くらやみシアター 一戸町コミュニティセンター</p> <p>○期日 8月21日</p> <p>○内容 夏休みに「こわいはなし」をテーマに、絵本等の読み聞かせと、映画会を行った。</p> <p>③冬休み特別☆としょかん映画会</p> <p>○期日 1月14日</p> <p>○内容 冬休みに小学生向けの映画会を実施予定。</p> <p>④春休みおはなしシアター</p> <p>○期日 3月26日</p> <p>○内容 春休みに、幼児から小学生向けの映画とおはなし会を実施予定。</p> <p>⑤リーヴルシネマ 一戸町コミュニティセンター</p> <p>○期日 5月14日、9月10日、12月17日、3月11日</p> <p>○内容 一般向けの映画会を行った。</p>	<p>① 延77名 (7月は20周年事業、8月はくらやみシアターとして実施)</p> <p>② 14名</p> <p>③ 47名</p> <p>④ 7名</p> <p>⑤ 延36名</p>	B

18. おはなし会	<p>①とことこおはなし会 ○期日 毎月第3金曜日 地域子育て支援センターのびのび ○内容 0～3才児を対象に、絵本や紙芝居の読み聞かせと手遊びを実施した。</p> <p>②ぴかぴかおはなし会【中止】 ○期日 隔月第1水曜日 総合保健福祉センター ○内容 2歳6カ月児の歯科健診時に、絵本や紙芝居の読み聞かせを行う。</p>	<p>① 延 49 名 (8、1月中止)</p> <p>② 【中止】</p>	B
19. 読書週間行事	<p>①こども図書館まつり ○期日 4月23日～5月12日 図書館内 ○内容 こどもの読書週間に合わせ、プレゼント企画(児童のみ)や映画会、ボードゲーム大会、資料展示を実施した。</p> <p>②読書スタンプラリー ○期日 10月1日～12月28日 図書館内 ○内容 図書館と読書に親しむことを目的にスタンプラリーを開催。ポイントを集めた方に記念品をプレゼントする。</p> <p>③ぬいぐるみおとまり会 ○期日 11月12～13日 一戸町コミュニティセンター ○内容 おはなし会とぬいぐるみのおとまり会を実施予定。翌日迎えに来た児童へミニアルバムを手渡し、ぬいぐるみが読んでいた絵本を紹介。</p> <p>④ボードゲームであそぼう！ ○期日 2月4日 一戸町コミュニティセンター ○内容 ボードゲームを自由体験、深く体験2種類で企画。</p>	<p>①延 119 名 ボードゲーム 10 名</p> <p>② 194 名</p> <p>③ 8 名</p> <p>④ 24 名 深く体験 4 名</p>	B
20. 地域連携	<p>①「オレンジカフェさくら」での出前図書館 (オレンジカフェさくらの会・一戸町地域包括支援センター主催) ア. オレンジカフェ in コミュニティセンター ○期日 毎月第3土曜日一戸町コミュニティセンター ○内容 認知症カフェ参加者へ向け、読み聞かせや関連図書の紹介を行った。貸出も可能とし、図書館利用促進に繋がった。 イ. オレンジカフェ地域巡回型 ○期日 毎月1回 町内各地区を巡回 (3・4月は調整のため実施なし) ○内容 認知症カフェ参加者へ向け、読み聞かせや関連図書の紹介を行った。貸出も可能とし、図書館利用促進に繋がった。</p> <p>②「ふれあい・いきいきサロン」での出前図書館 (一戸町社会福祉協議会主催) ○期日 年4回 ア檜山、イ姉帯地区 ○内容 参加者へ向け、読み聞かせや脳トレ、図書紹介を行った。貸出も可能とし、図書館利用促進に繋がった。</p> <p>③「こども食堂ひなたぼっこ」での出前図書館 (健康こども課ほか主催) ○期日 8月9日、9月27日、12月25日 ○内容 会場内に図書展示を行った。貸出も可能</p>	<p>① ア延 133 名 イ延 105 名</p> <p>② ア延 6 名 イ延 15 名</p> <p>③延 91 名</p>	B

	<p>とし、図書館利用促進に繋げた。</p> <p>④「ぬいぐるみおとまり会 in 御所野縄文博物館」 (御所野縄文博物館主催) ○期日 6月11～12日 御所野縄文博物館 ○内容 ぬいぐるみおとまり会で読み聞かせを行った。</p> <p>⑤「いちのへの宝展」(一戸ユネスコ協会主催) ○期日 2月17～19日 一戸町コミュニティセンター ○内容「小繫事件100周年」パネル展 2/18 関連行事 映画「こつなぎ」上映会</p>	<p>④ 5名</p> <p>⑤延143名 関連行事 59名</p>	
<p>21. 各種企画展示</p>	<p>①Library&amp;Community(一般書企画展示) ○期日 常設 ○内容 一般を対象に、社会問題や時事や生涯学習に役立つテーマを設定し、資料の展示貸出を行った。</p> <p>②おしごとサポート(一般書企画展示) ○期日 常設 ○内容 ビジネス・産業支援に関連した資料の展示・貸出及び、就職支援情報や逐次刊行物を収集、掲示した。</p> <p>③文学の森(一般書文学企画展示) ○期日 常設 ○内容 文学賞受賞作の他、テーマに沿った資料の展示・貸出を行った。</p> <p>④ティーンズ・ラボ(中高生向け企画展示) ○期日 常設 ○内容 中高生を対象に、各期間、テーマに関連した資料の展示・貸出を行った。</p> <p>⑤It's ニュース速報展示 ○期日 常設(毎日変更) ○内容 日々の社会問題を紹介するとともに、それに関連する資料の展示・貸出を行った。</p> <p>⑥HOT TOPIC 短期テーマ展示 ○期日 常設(随時) ○内容 社会問題を紹介するとともに、それに関連する資料の展示・貸出を行った。</p> <p>⑦ぶっくん研究室(児童書企画展示) ○期日 常設 ○内容 児童を対象に、暮らしに身近なテーマを設定し、資料の展示・貸出を行った。</p> <p>⑧ちいさな本だな(絵本展示) ○期日 常設 ○内容 絵本を中心に資料を展示・貸出した。</p> <p>⑨児童展示 ○期日 常設 ○内容 小学生を対象に児童文学や科学読み物を展示・貸出した。</p> <p>⑩児童季節展示 ○期日 不定期 ○内容 行事の絵本や児童文学等を展示・貸出した。</p> <p>⑪この本よんだ?(良書展示) ○期日 常設(通年) ○内容 児童向けの良書を複本で用意し、展示・</p>		<p>B</p>

	<p>貸出した。</p> <p>⑫原作 d e 先読み（話題本展示） ○期日 常設（随時） ○内容 映画やドラマの原作本や、関連本の展示・貸出を行った。</p> <p>⑬書評展示 ○期日 常設（随時） ○内容 新聞書評欄の記事とともに、資料を展示・貸出した。</p> <p>⑭特別展示 ○期日 不定期 ○内容 利用者からの需要が見込まれる図書や県立図書館巡回展示などを貸出した。 1月4～9日は「本の福袋」を貸出した。</p> <p>⑮郷土の先人 ○期日 常設（通年） ○内容 三浦哲郎、舟越保武の資料を展示・貸出した。</p> <p>⑯御所野遺跡 ○期日 常設（通年） ○内容 御所野遺跡、北海道・北東北の縄文遺跡群に関する資料の展示・貸出及び、パンフレット等を収集し提供した。</p> <p>⑰いちのへぐるり ○期日 常設（通年） ○内容 世界遺産に関する本を展示・貸出した。</p> <p>⑱いわ100&amp;いわ100きつず ○期日 常設（通年） ○内容 県教育委員会で発行したおすすめ図書リストに掲載の本を集め、展示・貸出した。</p>		
22. 開館 20 周年記念事業	<p>①開館 20 周年記念図書館バック作成・販売 ○期日 7月16日から販売 図書館内 ○内容 グラフィックデザイナーの柴田外男氏に図書館バックのデザインを依頼し作成、販売を行った。（濃紺、えんじ色の2色） 200枚限定販売。2月下旬に完売。</p> <p>②完成記念柴田外男作品展（ロビー展） ○期日 7月2～31日 一戸町コミュニティセンター ○内容 図書館バック完成を記念し作品展を行った。</p> <p>③開館 20 周年記念イベント ア. 記念セレモニー イ. 柴田外男絵手紙講座 ウ. 「岬のマヨイガ」上映会 ○期日 7月16日 一戸町コミュニティセンター ○内容 開館記念日に合わせ各種イベントを開催した。</p> <p>④開館 20 周年記念事業 柏葉幸子講演会&amp;サイン会 ○期日 11月5日 一戸町コミュニティセンター ○内容 児童文学作家柏葉幸子氏の講演会と当日書籍を購入された方にサイン会を行う。</p>	<p>① -</p> <p>② -</p> <p>③ア 160名 イ 12名 ウ 39名</p> <p>④ 81名</p>	A

成果と課題 (○: 成果、●: 課題)
<p>○地域おこし事業では新たな繋がりを発掘し、一戸町の魅力を発信した事業ができた。お仕事体験では医師や薬剤師の仕事を知ることができ貴重な体験会となった。</p> <p>○外部で行う地域連携事業（こども食堂、認知症カフェ等）が、運営の周知や図書館の利用促進に繋がった。</p> <p>○開館 20 周年事業を実施することで節目を祝うことができ、町民や町内外の利用者へ向けた PR に繋がった。</p> <p>○学校図書館連携事業では、小学校の学校司書配属もあり学習支援に力を入れた図書館づくり進められている。今後も学校教育課と連携協力を図り事業を行いたい。</p> <p>●利用者ニーズ、行政施策を勘案しながら図書館運営を行いたい。</p> <p>●障がい者サービスの一つである来館困難な利用者向けの宅配サービスの周知をさらに強化する。</p> <p>●地区センター図書室資料の更新や環境整備を行いたい。</p>

○その他

### 推進体制

事業名	実施内容	参加人数	評価
23. 二戸地区社会教育部会別会議	○期日 5月20日、2月24日 二戸地区合同庁舎 ○内容 二戸管内の公共図書館の情報交流を行った。	各1名	B
24. 一戸町学校司書・図書館業務担当者等研修会	○期日 6月2日 小鳥谷小、2月8日 一戸小 ○内容 学校司書・図書館業務担当者と情報交換を行った。	各3名	B
25. 管内子どもの読書活動推進連絡会議	○期日 5月25日 二戸市立図書館 ○内容 子どもの読書活動の振興について学んだ。	1名	B
26. 図書館専門研修会等	①北日本図書館大会・北海道（オンライン） ○期日 6月8日～7月15日配信 ○内容 縄文遺跡やアイヌ文化と図書館に関する研修を行った。 ②図書館等初任職員研修会 ○期日 6月7～8日 岩手県立図書館 ○内容 著作権やレファレンスについて研修した。 ③図書館等中堅職員研修会（オンライン） ○期日 7月25日 ○内容 電子図書館について研修した。 ④管内ボランティア等研修会 ○期日 9月9日 久慈地区合同庁舎 ○内容 読み聞かせについて研修した。 ⑤図書館職員等専門研修（オンライン） ○期日 9月15日 ○内容 レファレンスについて学んだ。 ⑥図書館・図書館協議会委員合同研修会 ○期日 10月19日 岩手県立図書館 ○内容 図書館とSDGsについて研修した。 ⑦北日本図書館連盟研究協議会（オンライン） ○期日 10月21日 ○内容 障がい者サービスについて学んだ。 ⑧市町村立図書館等職員専門研修 ○期日 12月2日 岩手県立図書館 ○内容 絵本の選書や読み聞かせについて学んだ。	① 2名 ② 1名 ③ 1名 ④ 1名 ⑤ 1名 ⑥ 1名 ⑦ 3名 ⑧ 1名 ⑨ 1名	B

	<p>⑨岩手県公共・大学・専門図書館等連絡協議会 (オンライン) ○期日 年3回 ○内容 関係機関との連携協力、情報共有を図る。</p> <p>⑩岩手県図書館研究事業 ○期日 11月17日 岩手県立図書館 ○内容 関係機関との連携協力、情報共有を図る。</p>	⑩ 1名	
27. 業務関連セミナー・研修会	<p>①認知症VRプロジェクト(地域包括支援センター主催) ○期日 9月8日 小鳥谷地区センター ○内容 認知症について理解を深めた。</p> <p>②一戸町見守り声かけ訓練(地域包括支援センター主催) ○期日 10月1日 小鳥谷地区センター ○内容 認知症の方への声かけ訓練に参加した。</p> <p>③シミセイおはなしひろば(オンライン) ○期日 10月25日 ○内容 読み聞かせについて知識や技能を学んだ。</p> <p>④ブックスタート全国研修会2022(オンライン) ○期日 10月25日 ○内容 読み聞かせについて知識や技能を学んだ。</p> <p>⑤図書館総合展(オンライン) ○期日 11月中配信 ○内容 図書館業務に関するフォーラムを視聴した。</p> <p>⑥全国図書館大会群馬大会(オンライン) ○期日 11月中配信 ○内容 図書館業務に関するフォーラムを視聴した。</p> <p>⑦末盛千枝子講演会 ○期日 12月10日 岩手県立美術館 ○内容 父・舟越保武氏のことについて、県美の収蔵作品などにまつわる末盛さんの思い出を拝聴した。</p> <p>⑧インボイス制度導入講習会(実務編) ○期日 1月12日 ○内容 インボイス制度について学んだ。</p>	① 1名 ② 2名 ③ 1名 ④ 3名 ⑤ 2名 ⑥ 4名 ⑦ 1名 ⑧ 4名	B
28. 先進地視察研修	<p>二戸地区図書館職員等研修会 ○期日 8月25日 八戸市 ○内容 八戸ブックセンター、八戸市立南郷図書館を視察した。また、二戸管内図書館職員との交流を図った。</p>	2名	B
29. 館内研修	<p>○期日 毎月月末整理日 ○内容 職員が講師をつとめ、図書館サービスやレファレンスなどをテーマに研修を行い、講師側・受講側ともに研鑽を図る。</p>	8名	B
<p>成果と課題 (○: 成果、●: 課題)</p> <p>○各種専門研修、業務関連研修に積極的に参加し自己研鑽に繋がった。 ○館内研修では、職員が講師を務めることで図書館業務や町の歴史や文化財について深く知る機会となった。 ●オンライン研修の時間を業務中に設定するよう努めたが、他業務との兼ね合いもあり難しい場合もあった。業務に支障のないよう計画を図りたい。</p>			

世界遺産事業実施状況

第5章 世界遺産を活用したまちづくりの推進

第1節 世界遺産を活用した取組

事業名	実施内容	参加人数等	評価
1. 縄文遺跡群世界遺産本部（4道県）	○期日 年1回 ○内容 北海道・北東北4道県知事と教育長、構成資産を持つ14市町の首長、教育長で構成		B
2. 縄文遺跡群世界遺産保存活用協議会（4道県）	○期日 ①9/2 第1回 オンライン開催 ②2/14 第2回 オンライン開催 ○内容 縄文遺跡群の構成資産及び緩衝地帯の保存管理を行うための協議会	①職員1名 ②職員1名	B
3. 縄文遺跡群世界遺産保存活用専門家委員会（4道県）	○期日 ①10/18 青森市 ②3/10 函館市 ○内容 構成資産の保存活用に関する専門的事項について調査研究をするための委員会	①職員1名 ②職員1名	B
4. 岩手県世界遺産保存活用推進協議会	○期日 ①6/10 盛岡市 ②3/27 盛岡市 ○内容 「平泉文化遺産」及び岩手県内の縄文遺跡群（御所野遺跡）の保存活用推進のため協議	①町長 ②町長、職員1名	B
5. 岩手県3つの世界遺産連携会議	○期日 ①7/8 盛岡市 ②2/16 盛岡市 ○内容 岩手県内3つの世界遺産の県内外に向けた一体的な取組の実施に向けた協議	①職員2名 ②職員1名	A
6. 4道県国内フォーラム	○期日 ①10/2 岩手県フォーラム（盛岡市） ②1/29 東京フォーラム ○内容 縄文遺跡群の学術的価値の浸透を図るフォーラム	①50名 ②600名 オンライン1,000名	B
7. 4道県共通ロゴマーク活用事業（4道県）	○期日 年間 ○内容 共通ロゴマークを活用したPRグッズなどの活用	年間	B
8. 4道県共通ホームページの活用事業（4道県）	○期日 年間 ○内容 縄文遺跡群を国内外へ発信するための共通ホームページの活用	年間	B
9. 世界遺産PRキャラクターの活用	○期日 年間 ○内容 ごしょどん、ごしょたんのデザイン及び着ぐるみの使用によるPR	デザイン使用許可17件 着ぐるみ貸出25件	B
10. 登録1周年記念事業	○期日 7/27 御所野縄文博物館 ○内容 世界遺産登録1周年記念日イベントを実施。入館無料、来園者記念品プレゼント、館長講話、のぼり設置、岩手日報広告、チラシ配布。	館長講話30名	B
	○期日 7～11月 ○内容 町内各団体・事業者と連携し、各イベントを「登録1周年記念」として実施した。		A
	○期日 10/15～11/27 御所野縄文博物館 ○内容 世界遺産登録1周年・御所野縄文博物館20周年記念企画展「自然とともに生きる縄文人」展の開催	延べ2,592名	B
11. 縄文時代の植生など実験・研究	○期日 ①5/26～27 ②6/26～27 ③8/23～24 ④10/26～27 ⑤11/25～26 共同調査 ○内容 縄文時代の植物利用などについて、金沢大学などとの共同研究		B
12. 調査成果発表会	○期日 2/25 御所野縄文博物館 ○内容 御所野遺跡や町内の文化財の調査研究についての成果発表	70名	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			

- 縄文遺跡群世界遺産協議会で世界遺産の保存に係る経過観察を実施し、その課題や今後の方針について話し合うことができた。
- 世界遺産登録1周年記念事業を実施し、広く町民に周知することができた。

## 第2節 未来へ伝えていくための取組

事業名	実施内容	参加人数等	評価
13. 御所野遺跡保存整備事業	○期日 年間 ○内容 ①縄文時代の植生復元整備（縄文里山づくり事業） ②史跡整備（園路舗装修理工事 8/1～10/7）		B
14. 御所野遺跡整備指導	○期日 ①6/12、8/31、2/11 辻誠一郎東京大学名誉教授 ②3/8 前川歩畿央大学講師 ○内容 御所野遺跡の整備や保存活用について専門家からの意見をいただいた		B
15. ボランティア活動支援（指定管理者）	○期日 ①11/23 大湯環状列石・伊勢堂岱遺跡のボランティア団体との交流会 御所野縄文博物館 ②12/11 北海道内構成資産ガイド団体との情報交換会 北海道洞爺湖町 ○内容 公園に関わるボランティア団体の活動を支援	①5名 ②4名	B
16. クリーンデー（指定管理者）	○期日 ①4/23 ②11/12 ○内容 ボランティア団体や町内各団体、住民等による御所野縄文公園の清掃活動	①181名 ②180名	B
17. ガイド養成講座（指定管理者）	○期日 3/25 ○内容 御所野遺跡のガイドを行うための必要な知識やノウハウを講義する。	10名	B
18. 景観形成支援事業	○期日 年間 ○内容 一戸町景観計画特定景観区域内における建造物の屋根等の塗り替えに対する補助	交付1件	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○休館日を利用して園路の修繕を行うことができた。引き続き安全管理に努める。 ●ボランティア活動の参加者が固定化傾向にある。新たな参加者の取り込みが課題。			

## 第3節 新たな交流の創出

事業名	実施内容	参加人数等	評価
19. 広域連携事業	○期日 7/27～11/30 ○内容 縄文周遊発掘スタンプラリー	752名	A
	○期日 10/1～10/31 御所野縄文博物館 ○内容 大湯環状列石・伊勢堂岱遺跡のパネル展示		
	○期日 7/8 ○内容 岩手県3つの世界遺産連携会議	職員1名	
	○期日 11/26 オンライン ○内容 北海道・北東北世界遺産子どもサミット	児童3名	
	○期日 12/14 平泉町 ○内容 岩手県3つの世界遺産ガイド交流会	ガイド4名	
	○期日 2/2 オンライン ○内容 岩手県3つの世界遺産児童交流会	児童15名	

20. 広報宣伝活動	○期日 年間 ○内容 パンフレットやポスター作成及び各種広報媒体への広告掲載	随時	B
	○期日 ①7/9 上野駅「いわて産直市」 ②11/3 横浜市「関内フード&ハイカラフェスタ」 ③11/5、6 平泉町「いわて世界遺産まつり」 ○内容 各イベントでのPR活動	①職員1名 ②職員1名 ③職員1名	
21. 修学旅行の誘致活動	○期日 年間 ○内容 修学旅行誘致のため、旅行会社等への働きかけ		B
22. SNS情報発信(指定管理者)	○期日 年間 ○内容 HP、SNS (Twitter、instagram等) を活用し、情報をリアルタイムに発信	フォロワー数 twitter 2,047 facebook 801 instagram 1,460	B
成果と課題 (○:成果、●:課題)			
○児童やボランティアガイドなど、世界遺産のつながりを活かした交流事業を複数回実施することができた。 ○人文地フォーラム(代表理事近藤誠一元文化庁長官)や駐パラグアイ大使の訪問を受け、マスコミを通じて御所野遺跡の認知度を高めることができた。			

#### 第4節 御所野縄文公園の活用

事業名	実施内容	参加人数等	評価
23. てづくりプログラム(指定管理者)	○期日 年間 ○内容 組みひも、お守り、土器、土笛、アクセサリ作り等の縄文体験	890名	B
24. まるっと里山プログラム(指定管理者)	○期日・内容 ①5/15、7/17「カゴをつくろう」 ②6/26、8/28、9/4「縄文の縄をつくろう」 ③7/3、7/10「縄文の布をつくろう～アカソ編～」 ④8/7「縄文の布をつくろう～カラムシ編～」	①17名 ②23名 ③3名 ④9名	B
25. ごしよのdeまなびプログラム(指定管理者)	○期日・内容 ①5/15「縄文土器で煮炊き体験」 ②6/12～13「ぬいぐるみお泊まり会 in 御所野縄文博物館」 ③10/15「縄文の星空観察会」 ④11/5「ドキドキ考古学者体験」 ⑤12/18「正月飾りをつくろう」 ⑥1/8「一戸町の絵馬を描いてみよう」 ⑦2/4「冬の縄文公園を歩こう」	①中止 ②5名 ③4名 ④4名 ⑤13名 ⑥2名 ⑦ー	B
26. 御所野縄文WEEK(共)	○期間 10/15～10/23 御所野縄文公園ほか ○内容 御所野遺跡や縄文文化の魅力を発信するため、二戸地域振興センター等と連携し9日間イベントを行った。 ①10/15 登録1周年企画展「自然とともに生きる縄文人」(～11/27) ②10/15 岩手日報報道展(～10/23) ③10/15 IBCラジオ「縄文ウォーク」公開生放送 ④10/15 星空観察会「縄文の星空を体験しよう」 ⑤10/15 ごしよの推し活(～10/23) ⑥10/16 御所野縄文博物館で記者体験! ⑦10/16 映画「ひまわり」上映会 ⑧10/19 小中学校音楽祭 ⑨10/21 縄文給食の日	①727名 ②1,730名 ③90名 ④4名 ⑤13名 ⑥9名 ⑦60名 ⑧300名 ⑨803名	B

	⑩10/22 縄文ヨガ ⑪10/22 浄法寺漆×御所野縄文（～10/23） ⑫10/23 ハッピーウォーク 2022 ⑬10/23 企画展記念講演会	⑩7名 ⑪70名 ⑫8名 ⑬40名	
27. 御所野縄文キャンプスクール（共）	○期間 9/23～24 御所野縄文公園ほか ○内容 縄文ムラの宿泊体験や縄文食体験など、縄文人の暮らしを体験するプログラム	15名	B
28. 縄文レストラン（共）	○期間 10/30 御所野縄文公園 ○内容 「縄文文化と発酵文化」をテーマにしたイベント。地元の食材や工芸品を活用した料理を提供。	30名	A
<b>成果と課題</b> （○：成果、●：課題）			
○御所野縄文公園入場者数は34,345人で昨年比105.9%となった。 ○民間事業者と連携して縄文レストランなど新たな取り組みを行うことができた。 ●ごしよのde学びプログラムの参加人数が少なかった。周知方法、実施内容などの再検討が必要。			

## 文化財関係事業実施状況

### 第6章 歴史文化の継承と創造

#### 第1節 文化財の調査・保護

事業名	実施内容	参加人数等	評価
1. 文化財指定候補物件の調査	○内容 町内に所在する文化財のうち優れたものについて調査を行い、必要に応じて指定し、保護を図る。 ①毘沙門堂遺跡の塚状遺構の測量調査	①5/20～12/20	B
2. 町内遺跡発掘調査事業	○内容 町内遺跡の開発に伴う発掘調査	試掘調査 13件 工事立会 8件	B
3. 指定文化財等の保護	○内容 指定文化財の維持管理 ①町内文化財パトロール	①随時	B
4. 文化財調査専門委員会	○期日・場所 開催なし ○内容 町文化財指定に係る諮問および文化財の調査、保護、活用について協議	—	C
5. 二戸地区文化財調査委員等連絡協議会（共）	○期日・場所 ①6/14 理事会 二戸地区合同庁舎 ②6/29 総会・研修会 三戸城跡 ○内容 二戸管内の文化財調査委員の情報交換と専門的な知識・技術の取得・向上を図る	①理事2名 職員1名 ②理事2名 職員2名	B
6. 神楽公開	○期日 6月 中止 (代替事業) いちのへの神楽 ○期日・場所 6/19 奥中山高原温泉にぎわい市特設会場 ○出演 女鹿神楽、小友神楽	115名	B
7. 権現様パレード	○期日 8/27 ○内容 各芸能団体の所有する権現様を一堂に会し、一戸まつり中日の神輿渡御に参加	参加43名	B
8. 第44回一戸町郷土芸能祭	○期日・場所 11/13 コミュニティセンター ○内容 郷土芸能を継承するため発表の機会を設け、地域住民に理解を深めてもらうとともに、伝承者の技術向上を図る	130名 招待芸能：山屋田植踊り保存会	B
9. 一戸町郷土芸能保存協議会への活動支援	○期日 ①5/28、8/21、10/20 役員会 ②総会 中止 ○内容 郷土芸能団体の交流・親睦を図り、各種事業を実施し、郷土芸能の活性化と後継者育成に努める	①各職員1名	B
10. 無形民俗文化財保存事業	○内容 各地域に伝わる無形民俗文化財を後世に継承するため、各団体に補助金を交付	交付決定7団体	B
成果と課題 (○：成果、●：課題)			
<p>●8月3日に発生した大雨により、国指定史跡奥州街道では、指定箇所7区間のうち6区間において、路盤流出、土砂や礫の流入、倒木などの被害が発生した。史跡保全等のための災害復旧工事は5区間において（1区間は応急的な復旧工事を実施済み）令和5年度に実施予定である。</p> <p>○神楽公開代替事業や郷土芸能祭の実施により発表の場を設けたことや、3年ぶりの開催となった権現様パレードの実施などにより、無形民俗文化財の伝承活動を行うことができた。</p>			

#### 第2節 重要文化財旧朴館家住宅の保存修理とまちづくり

事業名	実施内容	参加人数等	評価
11. 旧朴館家住宅保存修理委員会	○日時 ①8/17 第1回委員会 ②11/24 第2回委員会 ○内容 文化財建造物の専門家等で組織し、旧朴館家住宅保存修理に係る方針等に関して意見を求める。	①委員8名 オブザーバー1名 ②委員7名 オブザーバー2名	B
12. 旧朴館家住宅保存修理事業	○期日・場所 ①11/2 小鳥谷小見学 ②11/12 綾織茅場視察（遠野市）	①6年10名 ②委員4名	B
13. 朴館家住宅保存	○日時 6/11 総会 6～3月 火燃やし	会員11名	B

会への活動支援	○内容 住宅の保存活動を行う団体の活動を支援する		
成果と課題 (○：成果、●：課題)			
○委員会を2回開催し、保存修理事業計画について意見交換することができた。 ○地域住民や小学校と連携し、旧朴館家住宅への理解を広げる教育普及活動に取り組むことができた。			

### 第3節 文化財愛護の機運向上

事業名	実施内容	参加人数等	評価
14. 文化財普及活動	○内容 さまざまな広報手段を活用し文化財を周知する ①文化財紹介冊子作成 ②広報いちのへ掲載 ③ホームページ更新	①3月完成予定 ②計12回 ③随時	B
15. 地域住民との連携	○内容 地域住民やボランティア団体と連携し、文化財の保護活動を行う。 ①国指定史跡奥州街道 ②国指定根反の大珪化木 ③国指定藤島のフジ ④国指定旧朴館家住宅 ⑤県指定有形文化財西方寺毘沙門堂 ⑥町指定姉帯城跡	①越田橋町内会、八幡町町内会、小性堂町内会、高屋敷町内会、関屋町内会、自然と歴史の会 ②根反地区婦人会 ③藤島のフジを守る会 ④朴館家住宅保存会、駒木町内会 ⑤西方寺町内会 ⑥姉帯地区住民	B
16. 奥州街道ウォーク等への協力	○期日 ①8/10 二戸土木センター主催 ○内容 各団体の実施する奥州街道ウォーク等への協力など	①中止	—
17. いちのへ魅力再発見ツアーへの協力	○期日 ①11/5 ②11/7 ③11/9 ④11/22 ○内容 各地区センターが実施する町内文化財の内容や魅力を知るツアーの案内などの協力	①一戸地区 16名 (親子7組) ②奥中山地区 17名 ③鳥海地区 20名 ④小鳥谷地区 14名	B
成果と課題 (○：成果、●：課題)			
○地域住民と連携し、各文化財の清掃などの保護活動を進めることができた。 ○いちのへ魅力再発見ツアーの実施により、町内の文化財に対する興味関心を広げることができた。			

### その他

#### 1. 文化財行政推進体制

事業名	実施内容	参加人数	評価
18. 二戸地区文化財担当者会議(共)	○期日・場所 11/22 軽米町歴史民俗資料館 ○内容 文化財行政の具体的推進について協議し、事業の効果的推進を図る	職員2名	B
19. 岩手県史跡整備市町村協議会	○期日・場所 ①7/7 総会 平泉 ②11/29～30 研修会 二戸市 ○内容 史跡整備の研究と行政的課題について協議	①職員1名 ②職員2名	B

20. 全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会	○期日・場所 7/14・15 総会・研修会 酒田市 ○内容 史跡整備の研究と行政的課題について協議	欠席	B
21. 全国史跡整備市町村協議会	○期日・場所 ①10/5 総会・講演会 平泉町 ②10/6～7 エクスカーション (県内4コース) ※10/6 御所野遺跡見学 ③11/15 臨時大会 ホテルニューオータニ ○内容 史跡整備の研究と行政的課題について協議	①町長 職員1名 ②御所野遺跡視察対応 職員1名 ③職員1名	B
成果と課題 (○：成果、●：課題)			
○全国史跡整備市町村協議会平泉大会エクスカーションでは、全国各地からの参加者に御所野遺跡を紹介することができた。			